



# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. IM-Knowledgeについて
  - 2.1. コンテンツの種類
  - 2.2. ロール
- 3. ナレッジグループ
  - 3.1. ナレッジグループの作成/更新/削除
    - 3.1.1. ナレッジグループを新規作成する
    - 3.1.2. ナレッジグループを更新する
    - 3.1.3. ナレッジグループを削除する
  - 3.2. ナレッジグループの権限設定
- 4. クエリ
  - 4.1. クエリの種類
  - 4.2. パブリッククエリの登録/更新/削除
    - 4.2.1. パブリッククエリを登録する
    - 4.2.2. パブリッククエリを更新する
    - 4.2.3. パブリッククエリを削除する
  - 4.3. グループクエリをパブリッククエリに変更する
- 5. インポート・エクスポート
  - 1. インポート
  - 2. エクスポート
    - 2.1. すべてのコンテンツをエクスポートする
    - 2.2. コンテンツを指定してエクスポートする
- 6. IM-Knowledge設定
  - 6.1. 設定可能項目
  - 6.2. タグ上限値を設定する
  - 6.3. 表示形式を設定する
- 7. Wiki アシスタント
  - 7.1. Wiki アシスタントについて
    - 7.1.1. Wiki アシスタント機能の利用手順
  - 7.2. Wiki アシスタントの作成/更新/削除
    - 7.2.1. Wiki アシスタントを新規作成する
    - 7.2.2. Wiki アシスタントを更新する
    - 7.2.3. Wiki アシスタントを削除する
  - 7.3. Wiki アシスタントの認可設定
  - 7.4. Wiki アシスタントの組み込み
    - 7.4.1. Wiki アシスタントの組み込み手順

## 改訂情報

---

変更年月日	変更内容
2018-08-01	初版
2018-12-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">ナレッジグループの権限設定</a>」に権限設定に関するコラムを追記</li></ul>
2024-10-01	第3版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">Wiki アシスタント</a>」を追加</li></ul>
2025-04-01	第4版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">Wiki アシスタント</a>」 - 「<a href="#">Wiki アシスタントの作成/更新/削除</a>」を更新</li><li>「<a href="#">Wiki アシスタントについて</a>」のテキスト抽出に関する文章を変更</li></ul>
2026-04-01	第5版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">Wiki アシスタント機能の利用手順</a>」に会話履歴削除に関する手順を追加</li></ul>

---

IM-Knowledgeとは、業務において発生した知見をintra-mart Accel Platform上に集約させるナレッジベース機能です。ファイルサーバや個々のPC、メール等で別々に保管されていた知見、情報をセキュアな環境で集約し、Web上で複数人での編集、管理を行うことができます。

また、intra-mart Accel Platformの認可機能を活用することで、公開範囲を指定することも可能です。

## コンテンツの種類

---

- Wiki
  - Wikiページを作成、編集、管理を行うことが出来るコンテンツです。
- ワークブック
  - IM-Spreadsheet Option for Accel Platformモジュールを追加することで利用出来るコンテンツです。
  - 詳細については「[利用ガイド](#)」を参照してください。

## ロール

---

IM-Knowledgeではテナント環境セットアップ時に以下のロールが登録されます。

ロール表示名	初期設定
Knowledge グループ管理管理者 (ロール ID:im_knowledge_manager)	ナレッジグループの管理、インポート・エクスポートの操作などが初期設定で許可されています。
Knowledge コンテンツ利用者 (ロール ID:im_knowledge_user)	「コンテンツ一覧」画面のメニュー・画面を表示できるように初期設定で許可されています。

---

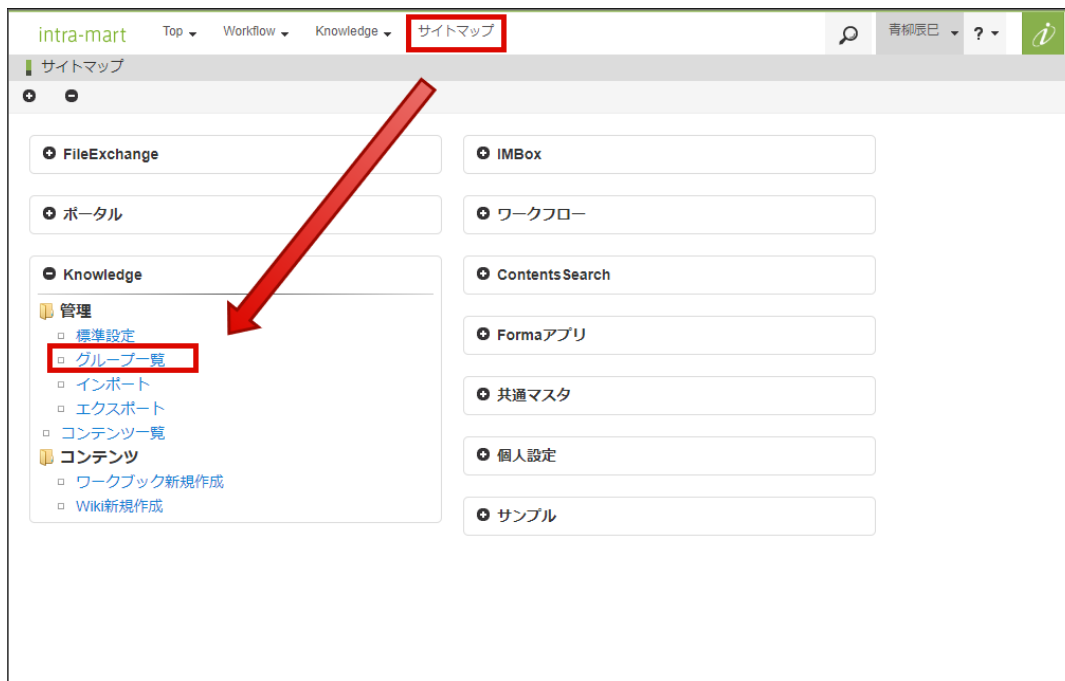
ここではIM-Knowledgeで扱う画面の機能について説明します。

## ナレッジグループの作成/更新/削除

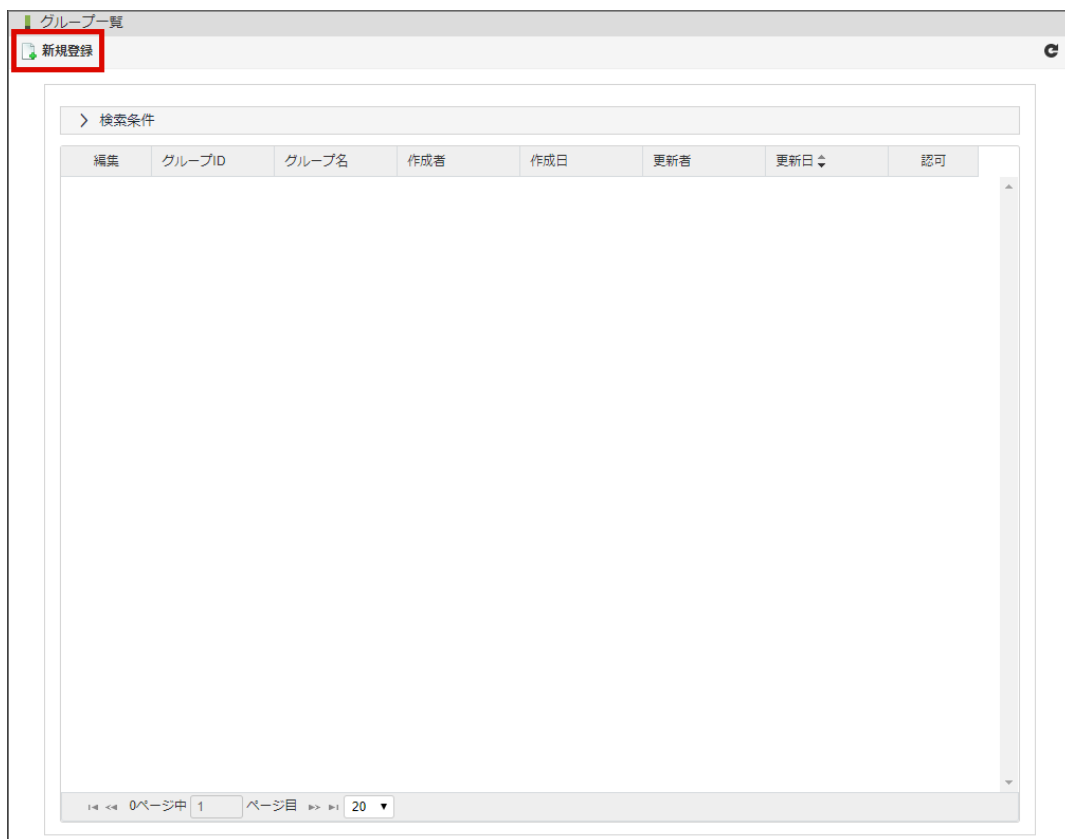
ここではナレッジグループを扱う画面の機能について説明します。

### ナレッジグループを新規作成する

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「グループ一覧」をクリックし、「グループ一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「新規登録」をクリックします。



3. ナレッジグループの新規作成画面（「グループ編集」画面）を表示します。

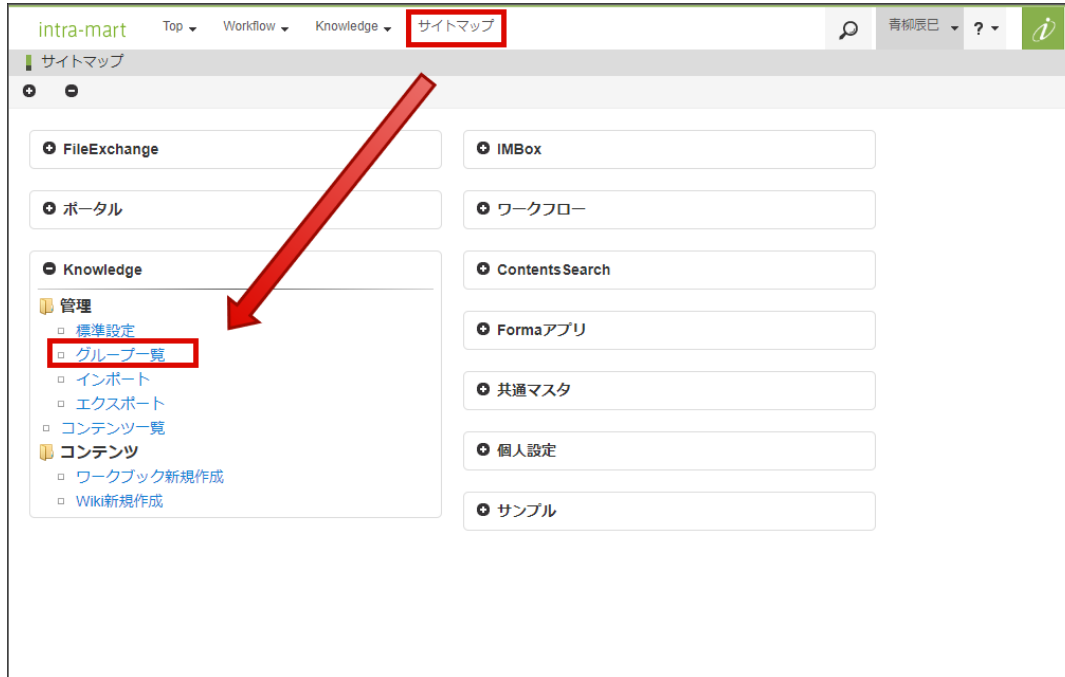
4. グループ情報を入力し「登録」ボタンをクリックします。

<画面項目>

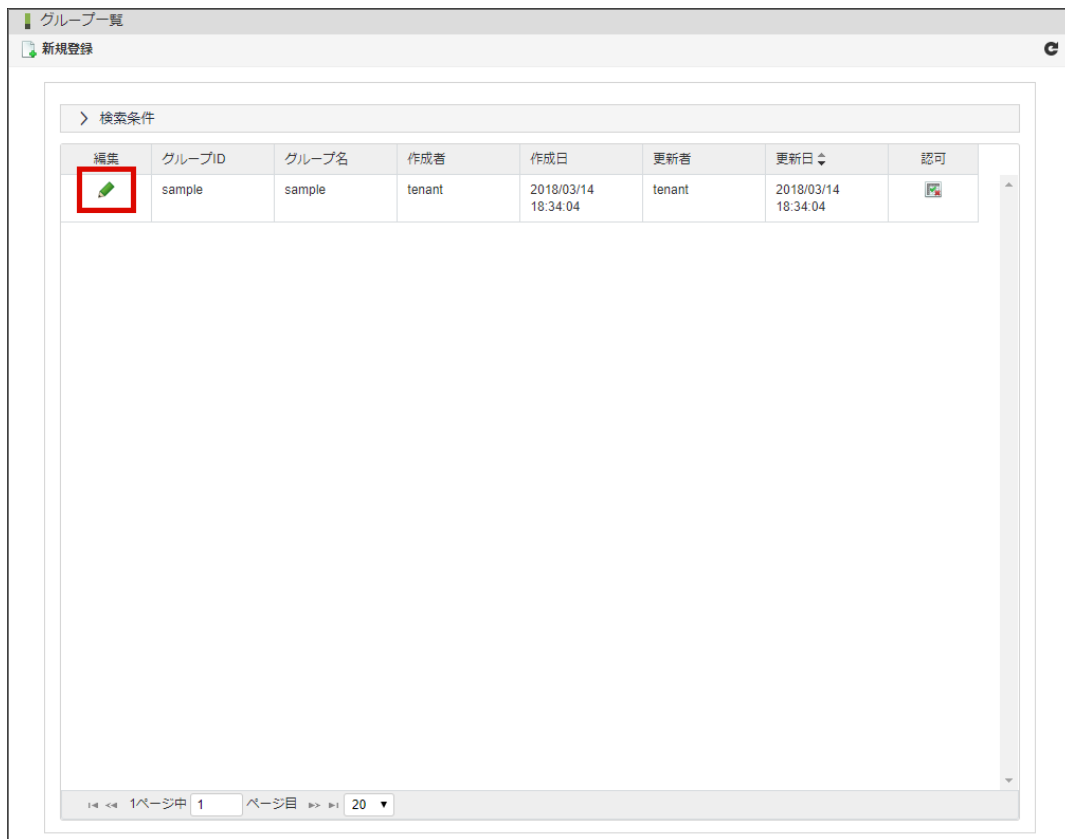
項目	説明
グループID	グループを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
グループ名	グループを表す名称を入力します。 この項目は必須項目です。
説明	グループの説明を入力します。

ナレッジグループを更新する

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「グループ一覧」をクリックし、「グループ一覧」画面を表示します。



2. 更新を行うグループの列にある「編集」アイコン (  ) をクリックします。



3. ナレッジグループの編集画面 (「グループ編集」画面) を表示します。

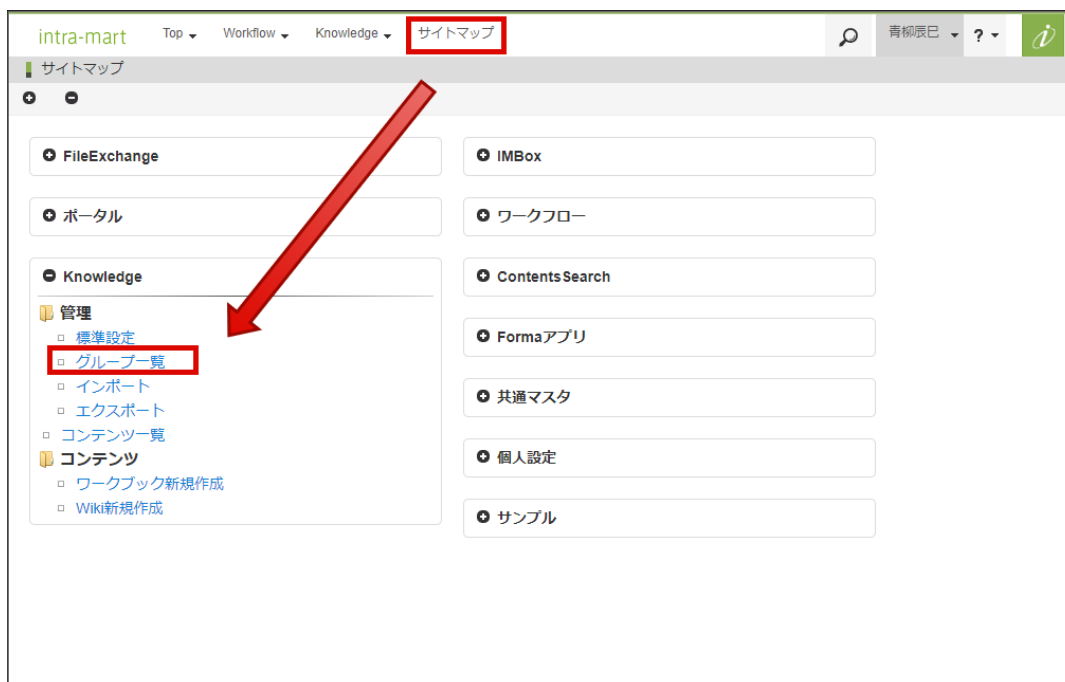
4. 更新内容を入力し「更新」ボタンをクリックします。


<画面項目>

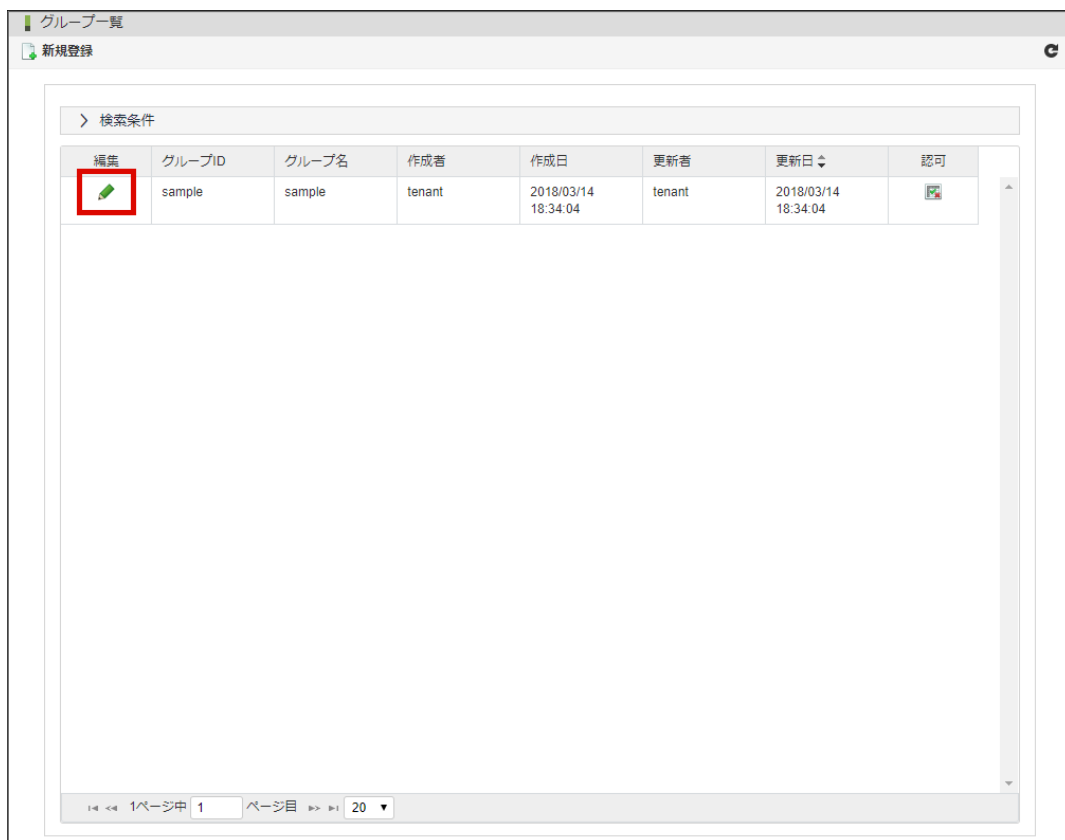
項目	説明
グループID	更新を行うグループのIDが表示されます。
グループ名	グループを表す名称を入力します。 この項目は必須項目です。
説明	グループの説明を入力します。

## ナレッジグループを削除する

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「グループ一覧」をクリックし、「グループ一覧」画面を表示します。



2. 削除を行うグループの列にある「編集」アイコン (  ) をクリックします。



3. ナレッジグループの編集画面 (「グループ編集」画面) を表示します。

グループ編集

←

グループ情報

グループID \* sample

グループ名

標準 *	sample
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

説明

標準	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

更新 削除

4. 「削除」 ボタンをクリックします。

グループ編集

←

グループ情報

グループID \* sample

グループ名

標準 *	sample
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

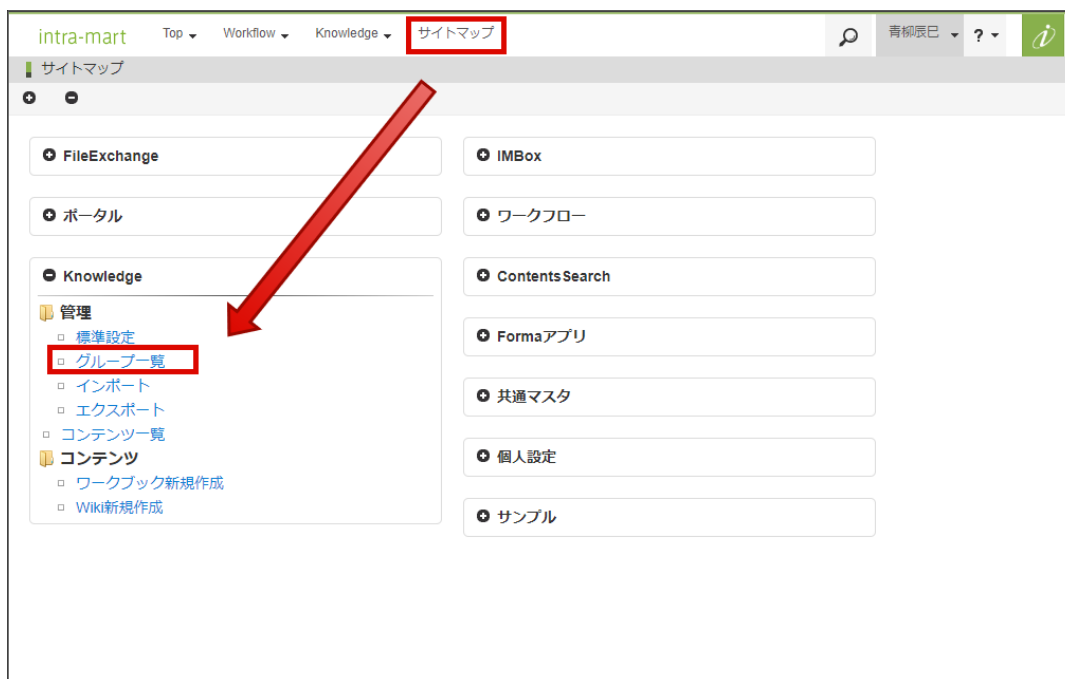
説明

標準	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

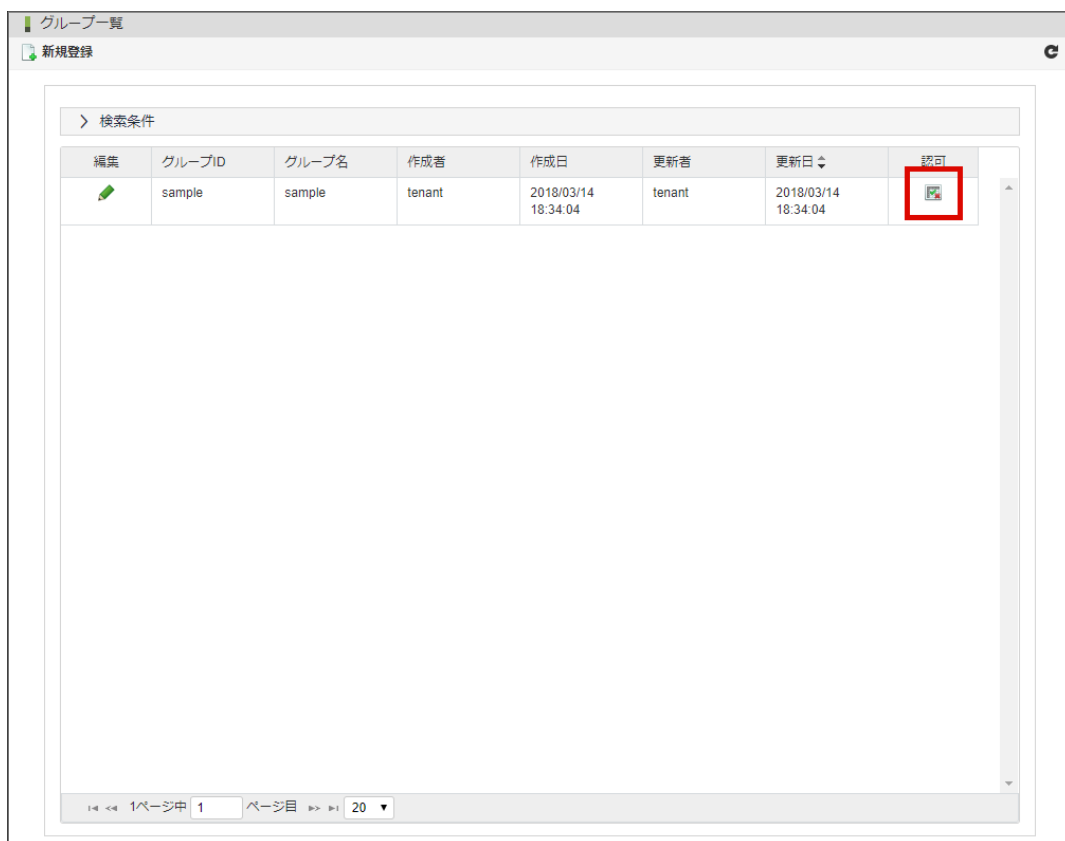
更新 削除

## ナレッジグループの権限設定

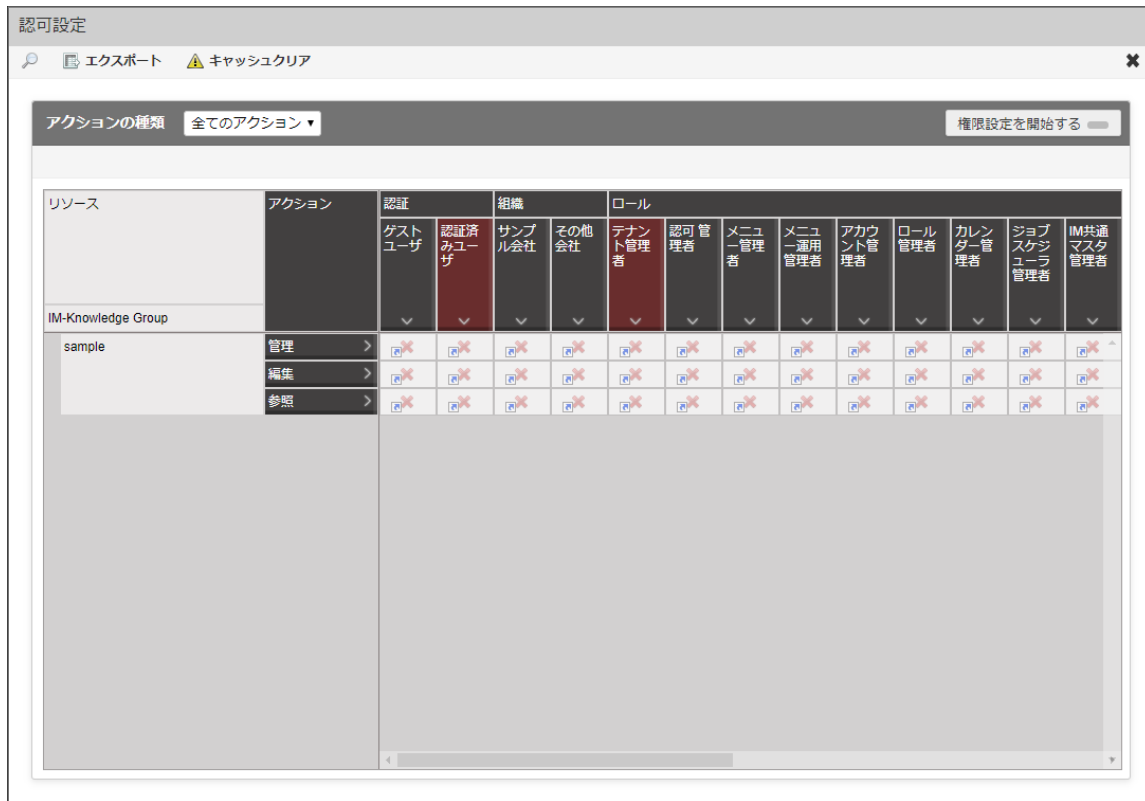
1. 「サイトマップ」 → 「Knowledge」 → 「管理」 → 「グループ一覧」 をクリックし、「グループ一覧」画面を表示します。



2. 権限設定を行うグループの列にある「認可」アイコン (  ) をクリックします。

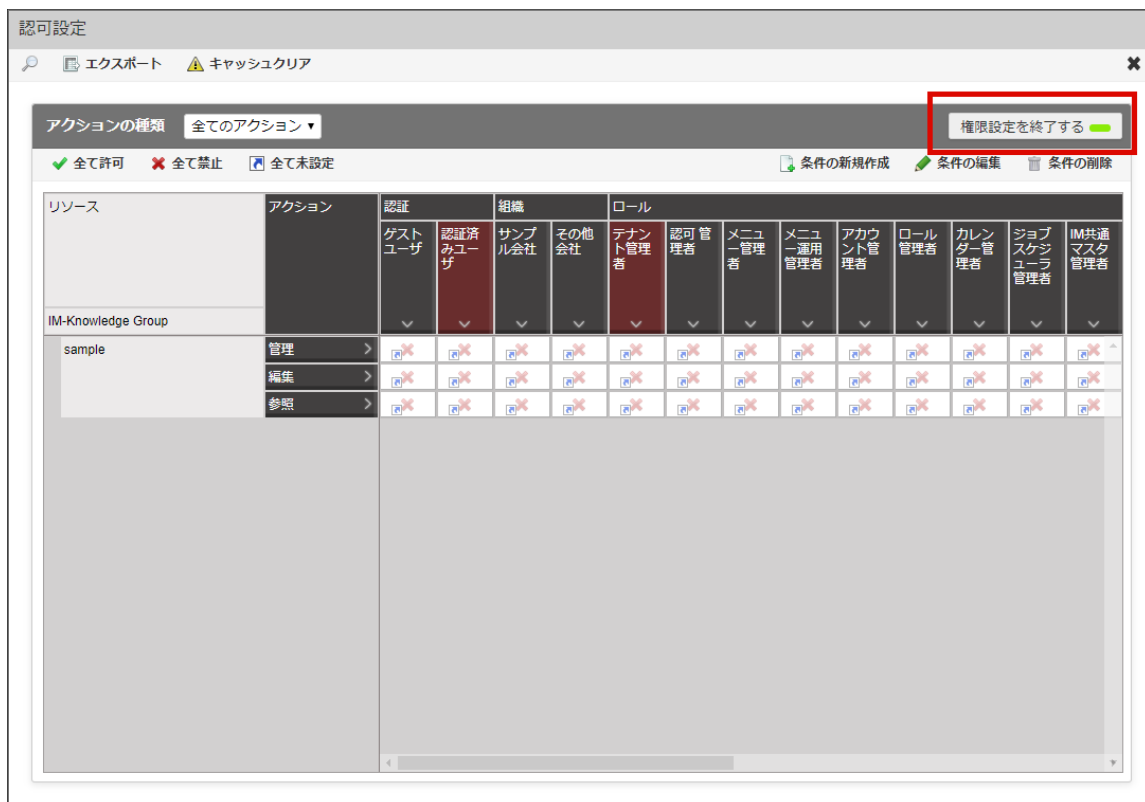


3. ナレッジグループの権限設定画面（「認可設定」画面）を表示します。



4. 「権限設定を開始する」をクリックし、認可設定を行います。

認可設定画面の基本的な利用方法は「テナント管理者操作ガイド」 - 「認可を設定する」を参照してください。



 コラム

ナレッジグループごとに以下の権限を設定することで、コンテンツに対する操作権限を指定できます。

## 管理

- コンテンツの「編集」と「参照」が可能な権限です。
- コンテンツの「編集」と「参照」に加えて、コンテンツに対する高度な設定が可能です。
- 可能となる操作はコンテンツによって異なります。
- この権限（認可アクション）は2018 Winterから追加されました。

## 編集

- コンテンツの「編集」と「参照」が可能な権限です。

## 参照

- コンテンツの「参照」のみが可能な権限です。
- コンテンツを編集して保存することはできません。

## クエリ

ここではIM-Knowledgeで扱うクエリの機能について説明します。

### クエリの種類

IM-Knowledge で利用可能なクエリの種類は以下の通りです。

<種類一覧>

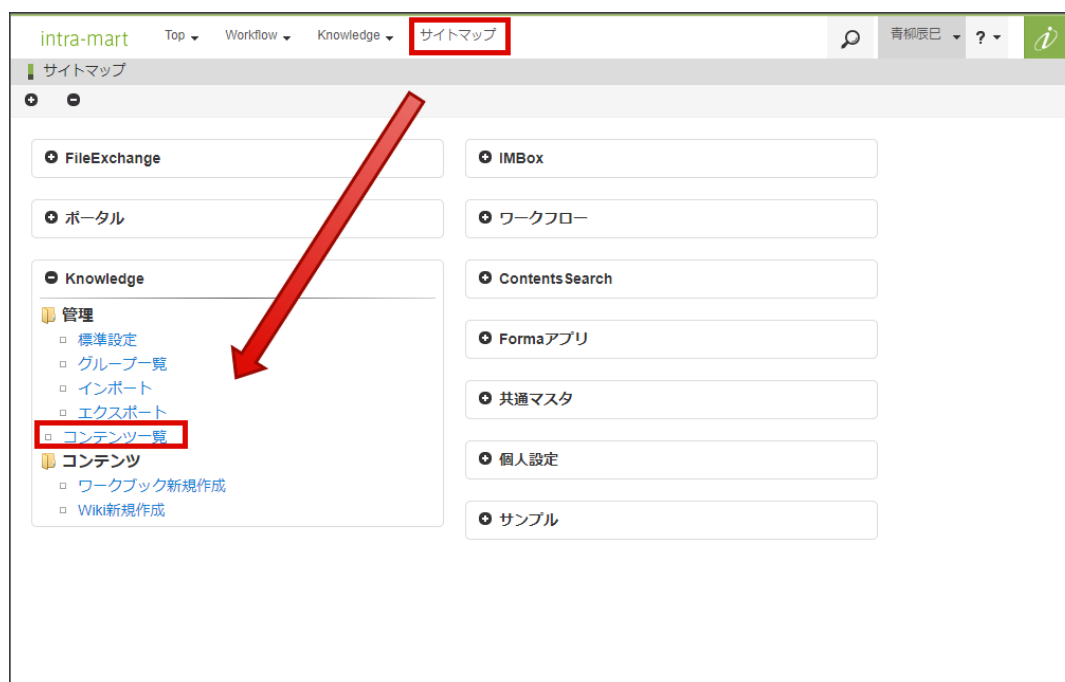
項目	説明
プライベートクエリ	各コンテンツ利用者が個人で閲覧・編集可能なクエリです。 クエリを作成した本人以外には閲覧・編集することが出来ません。
パブリッククエリ	グループ管理者のみが編集可能で、管理者以外の全てのコンテンツ利用者は閲覧のみ可能なクエリです。
グループクエリ	各グループに編集権限がある場合は編集が、参照権限のある場合は参照が可能なクエリです。

### パブリッククエリの登録/更新/削除

ここではパブリッククエリの機能について説明します。

#### パブリッククエリを登録する

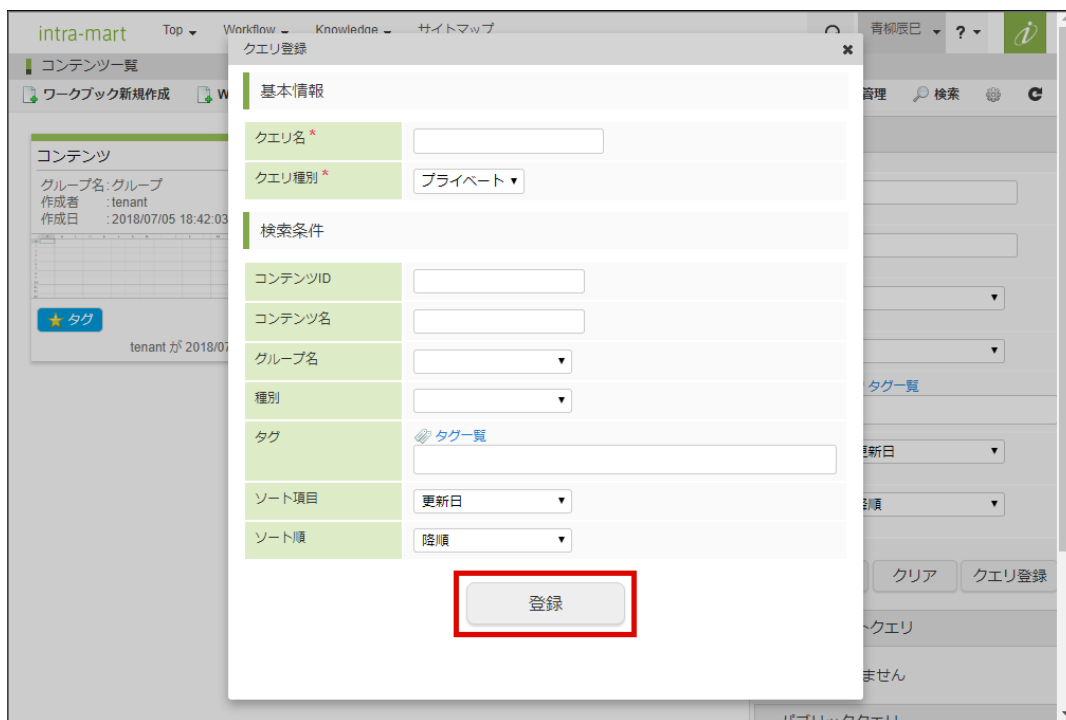
1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



2. 「クエリの登録」ボタンをクリックします。



3. クエリ登録ダイアログを表示します。
4. クエリの情報、および、検索条件を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



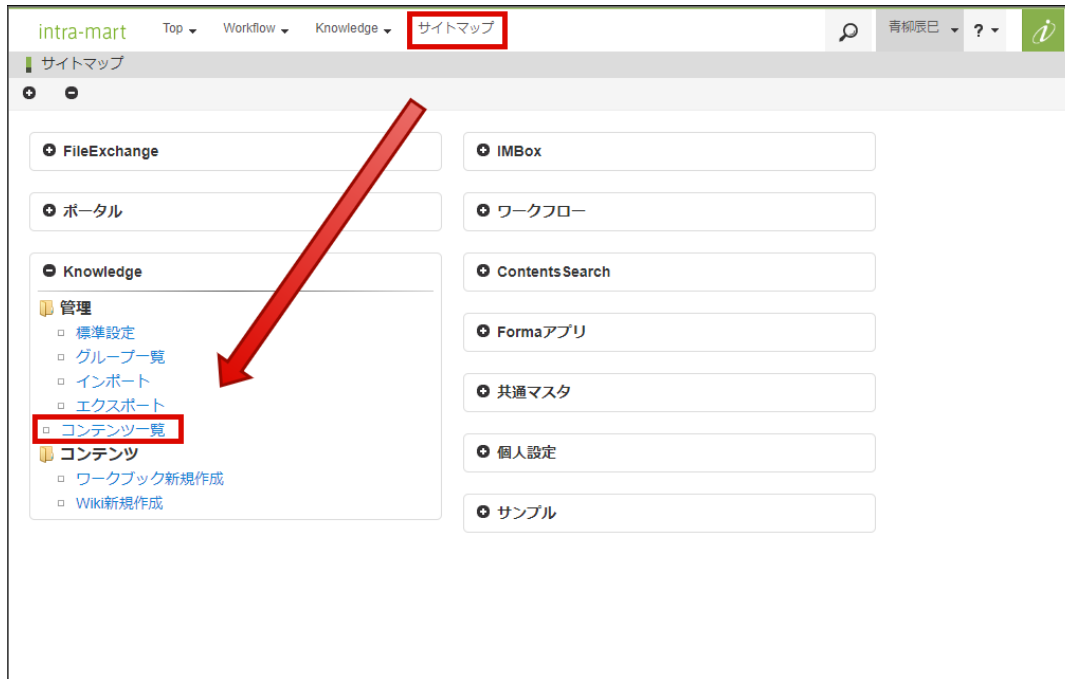
<画面項目>


項目	説明
クエリ名	クエリを表す名称を入力します。 この項目は必須項目です。
クエリ種別	クエリの種別を設定します。 この項目は必須項目です。
コンテンツID	コンテンツIDを入力します。
コンテンツ名	コンテンツの名称を入力します。
グループ名	グループの名称を設定します。
種別	コンテンツの種別を設定します。
タグ	コンテンツのタグを設定します。

項目	説明
ソート項目	ソートの基準とする項目を設定します。
ソート順	ソート順が昇順なのか、降順なのかを設定します。
「登録」ボタン	クエリを登録します。

## パブリッククエリを更新する

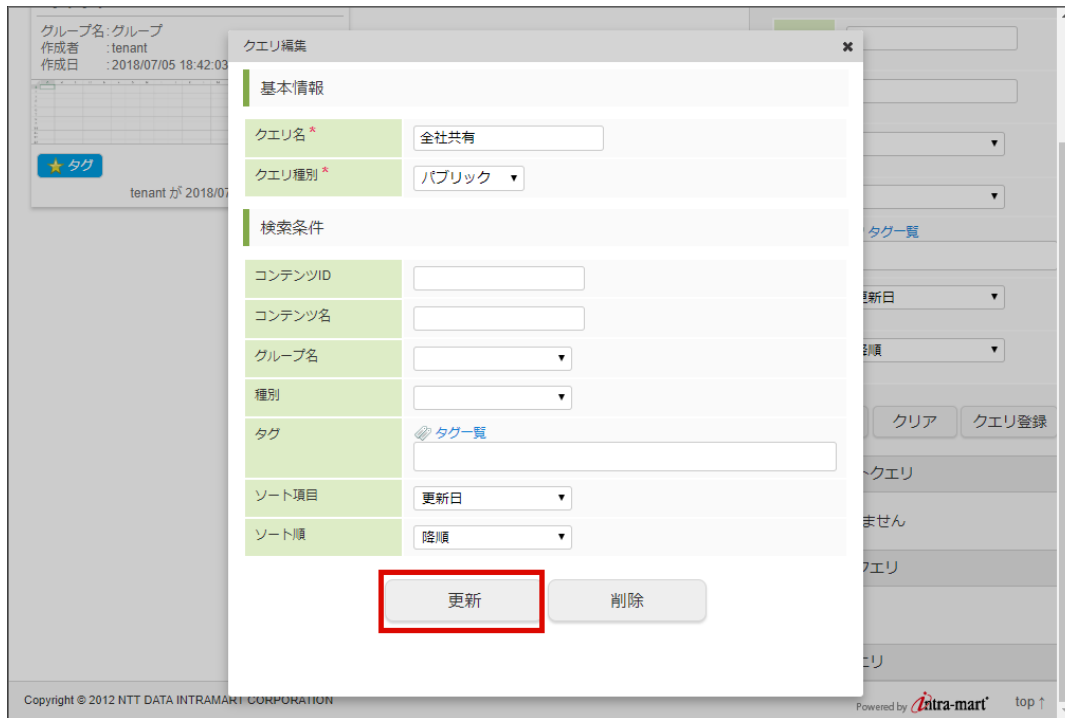
1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



2. パブリッククエリ名にカーソルを当てた時に表示される「鉛筆」アイコン (  ) をクリックします。



3. クエリ編集ダイアログを表示します。
4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

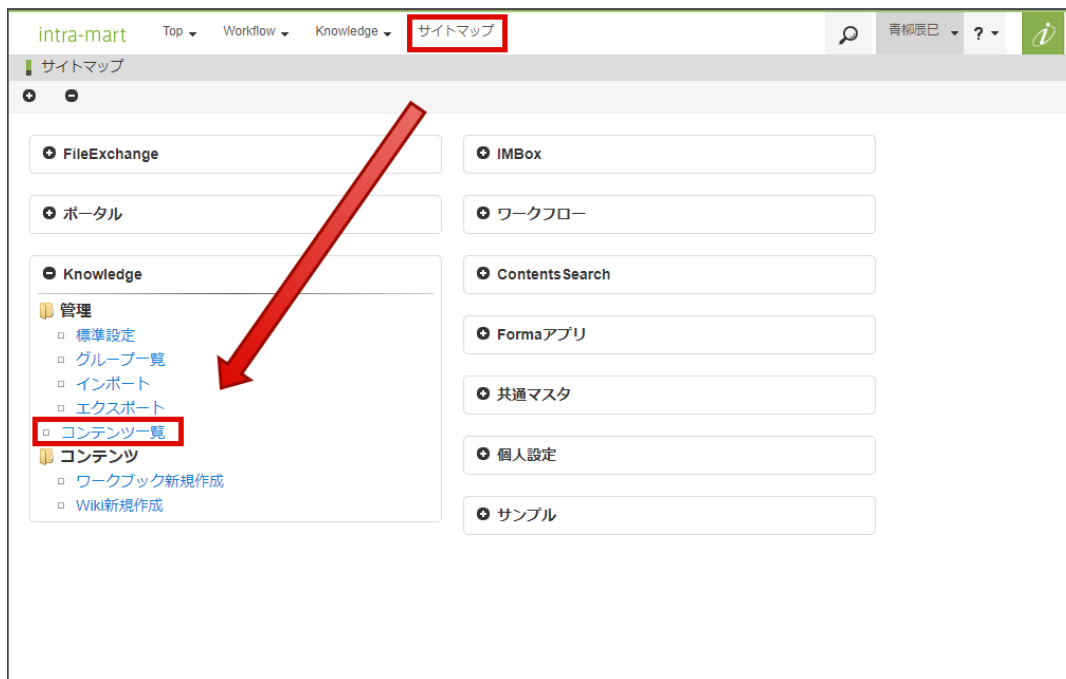



## &lt;画面項目&gt;

項目	説明
クエリ名	クエリを表す名称を設定します。 この項目は必須項目です。
クエリ種別	クエリの種別を設定します。 この項目は必須項目です。
コンテンツID	コンテンツIDを設定します。
コンテンツ名	コンテンツの名称を設定します。
グループ名	グループの名称を設定します。
種別	コンテンツの種別を設定します。
タグ	コンテンツのタグを設定します。
ソート項目	ソートの基準とする項目を設定します。
ソート順	ソート順が昇順なのか、降順なのかを設定します。
「更新」ボタン	クエリを更新します。
「削除」ボタン	クエリを削除します。

## パブリッククエリを削除する

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。

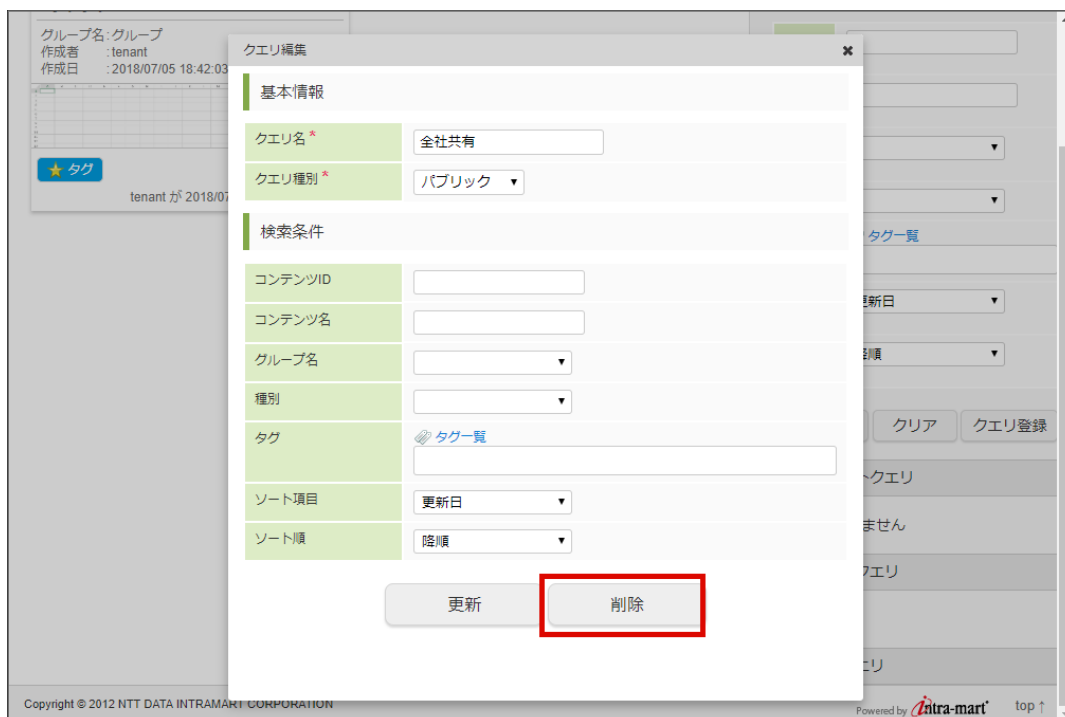


2. パブリッククエリ名にカーソルを当てた時に表示される「鉛筆」アイコン (  ) をクリックします。



3. クエリ編集ダイアログを表示します。

4. 「削除」 ボタンをクリックします。

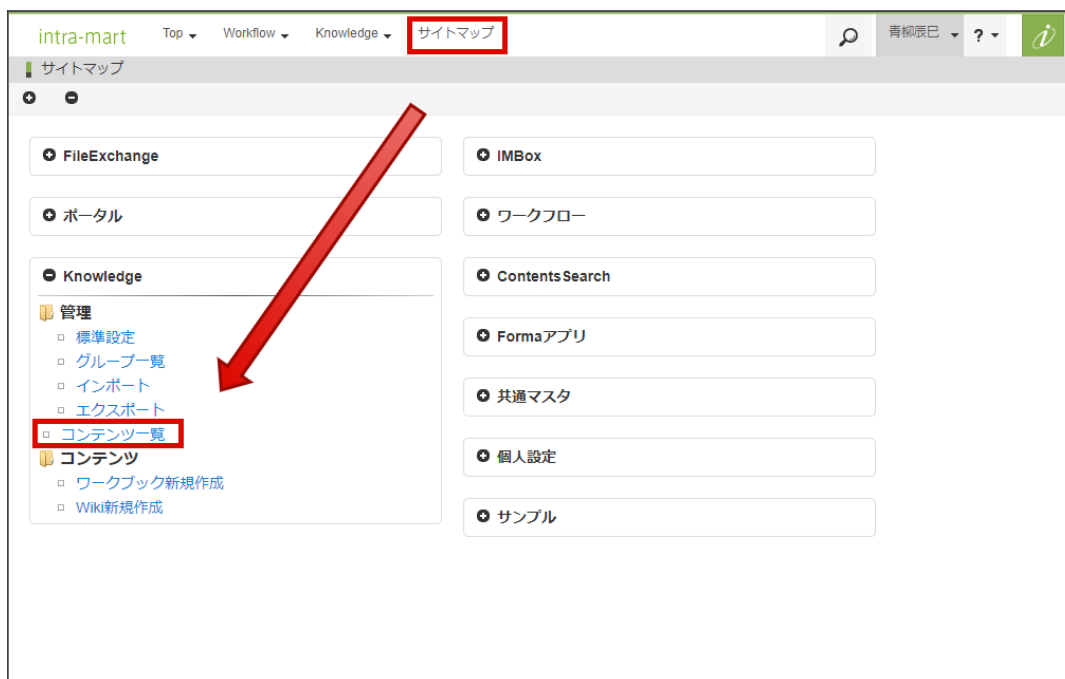



## &lt;画面項目&gt;

項目	説明
クエリ名	クエリを表す名称が表示されます。 この項目は必須項目です。
クエリ種別	クエリの種別が表示されます。 この項目は必須項目です。
コンテンツID	コンテンツIDが表示されます。
コンテンツ名	コンテンツの名称が表示されます。
グループ名	グループの名称が表示されます。
種別	コンテンツの種別が表示されます。
タグ	コンテンツのタグが表示されます。
ソート項目	ソートの基準とする項目が表示されます。
ソート順	ソート順が昇順なのか、降順なのかを表示します。
「更新」ボタン	クエリを更新します。
「削除」ボタン	クエリを削除します。

## グループクエリをパブリッククエリに変更する

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



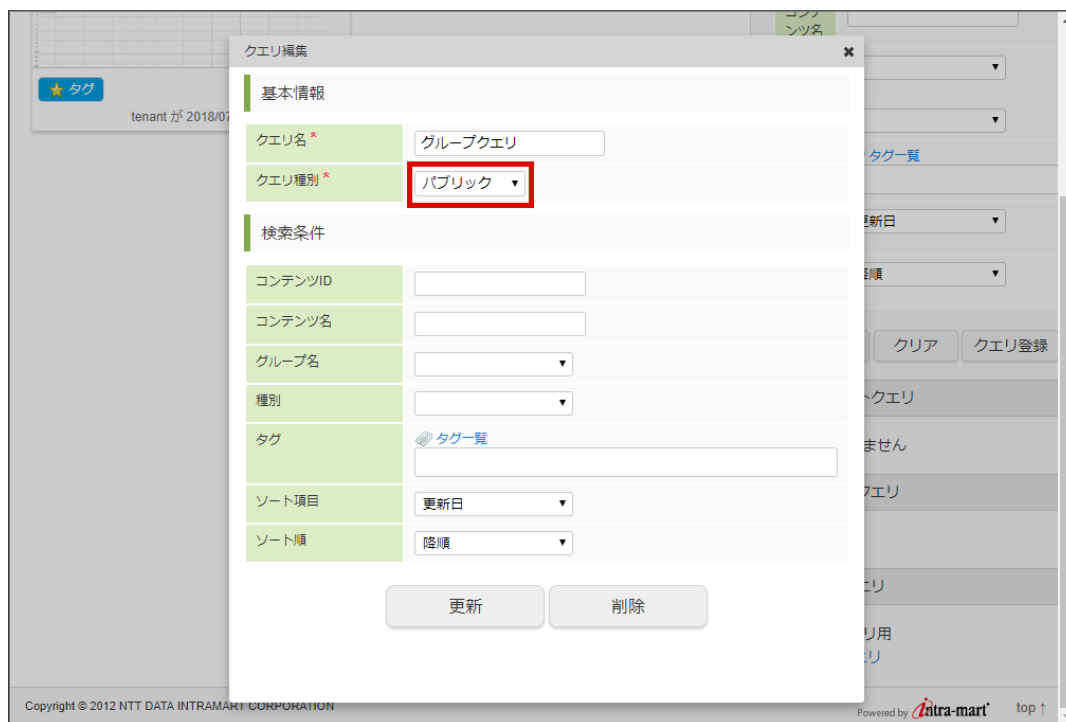
2. グループクエリ名にカーソルを当てた時に表示される「鉛筆」アイコン (  ) をクリックします。



3. クエリ編集ダイアログを表示します。
4. 「クエリ種別」項目を「グループ」から「パブリック」に変更します。
  - 変更前



■ 変更後



5. 「更新」 ボタンをクリックします。

## &lt;画面項目&gt;

項目	説明
クエリ名	クエリを表す名称が表示されます。 この項目は必須項目です。
クエリ種別	クエリの種別が表示されます。 この項目は必須項目です。
コンテンツID	コンテンツIDが表示されます。
コンテンツ名	コンテンツの名称が表示されます。
グループ名	グループの名称が表示されます。
種別	コンテンツの種別が表示されます。
タグ	コンテンツのタグが表示されます。
ソート項目	ソートの基準とする項目が表示されます。
ソート順	ソート順が昇順なのか、降順なのかを表示します。
「更新」ボタン	クエリを更新します。
「削除」ボタン	クエリを削除します。

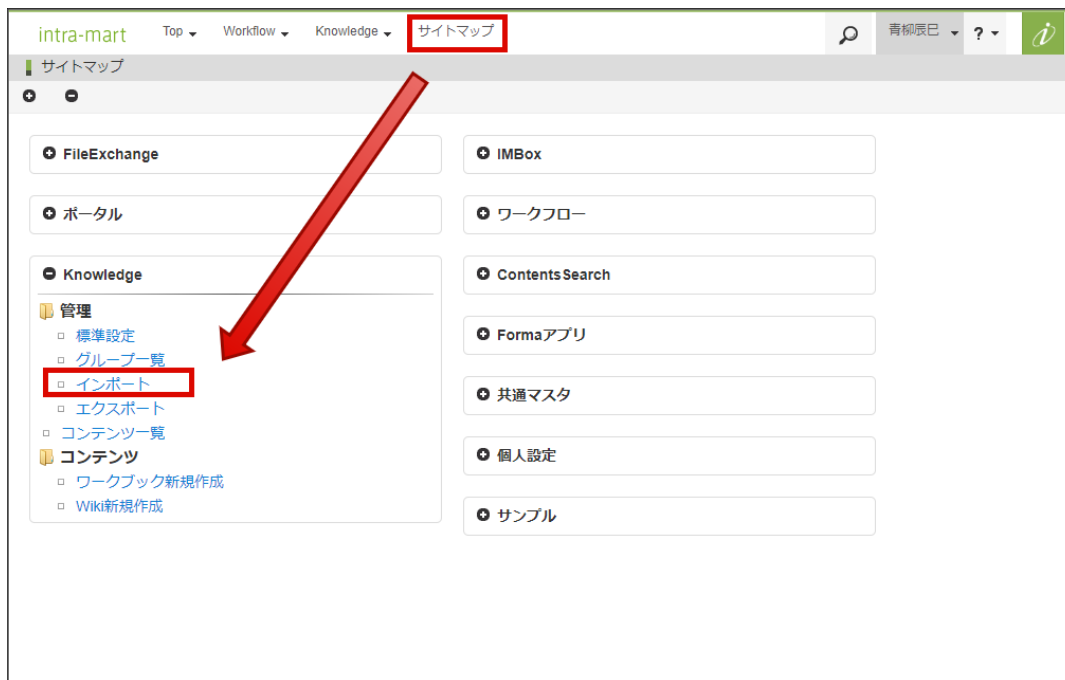
**注意**

パブリッククエリに変更後、再度、グループクエリに変更することはできません。

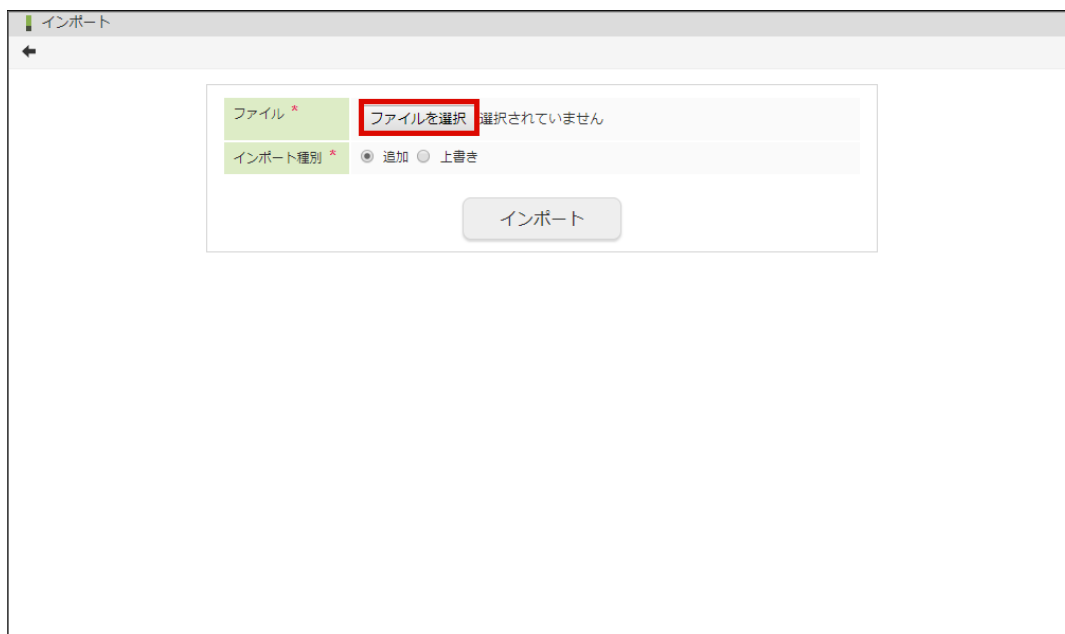
ここではIM-Knowledgeでインポートおよびエクスポートを扱う機能について説明します。

## インポート

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



2. 「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイルダイアログから対象ファイルを選択します。



3. インポート種別を選択し、「インポート」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'インポート' (Import) interface. It includes a 'ファイル \*' (File) field with a 'ファイルを選択' (Select File) button and the filename 'im\_knowle...\_1626.zip'. Below it is the 'インポート種別 \*' (Import Type) field with radio buttons for '追加' (Add) and '上書き' (Overwrite). A red box highlights the 'インポート' (Import) button at the bottom.

<画面項目>

項目	説明
ファイル	インポートするファイルを選択します。 「ファイルを選択」ボタンをクリックすると、ファイルダイアログが表示されます。 この項目は必須項目です。
インポート種別	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加：インポート対象の情報がすでにコンテンツ一覧に存在する場合、差分のみを更新します。</li> <li>上書き：インポート対象の情報がコンテンツ一覧に存在しないにもかかわらず、コンテンツの内容を上書きします。</li> </ul> <p>この項目は必須項目です。</p>
「インポート」ボタン	ファイルをインポートします。



#### コラム

インポートしたコンテンツに表示されるユーザ名はインポートを実行したユーザの名称が表示されます。



#### コラム

インポート対象のコンテンツがコンテンツ一覧に存在しない場合、インポート種別を「追加」と「上書き」のどちらを選択しても正常にインポートされます。

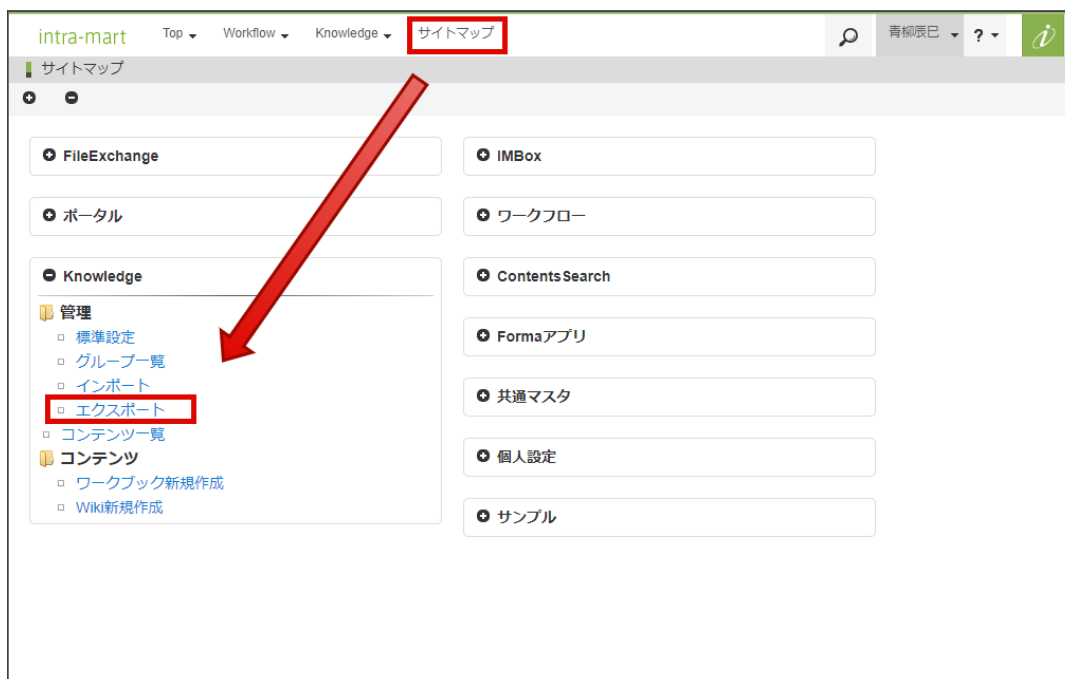
## エクスポート

### 目次

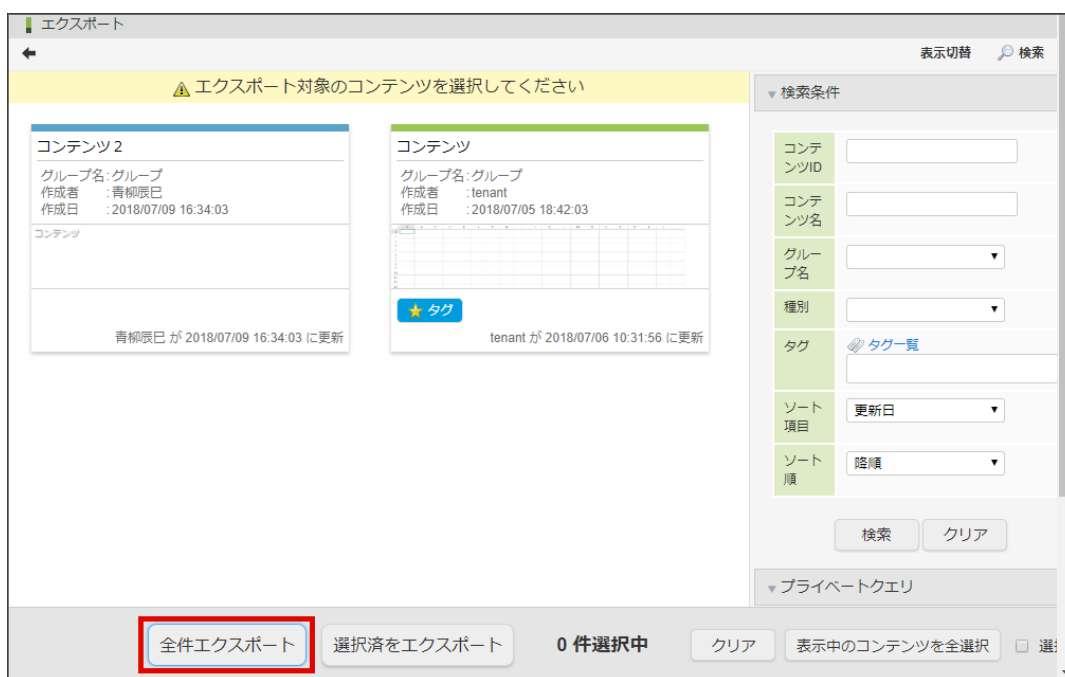
- すべてのコンテンツをエクスポートする
- コンテンツを指定してエクスポートする

### すべてのコンテンツをエクスポートする

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「エクスポート」をクリックし、「エクスポート」画面を表示します。

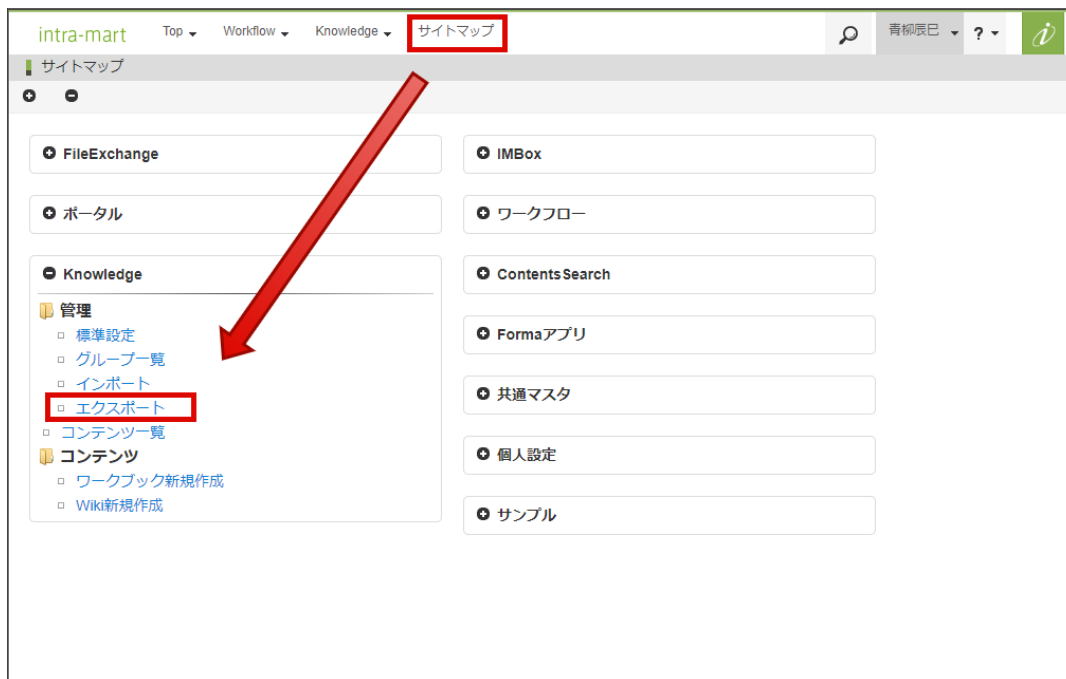


- 画面下に表示されているツールバーの「全件エクスポート」ボタンをクリックします。

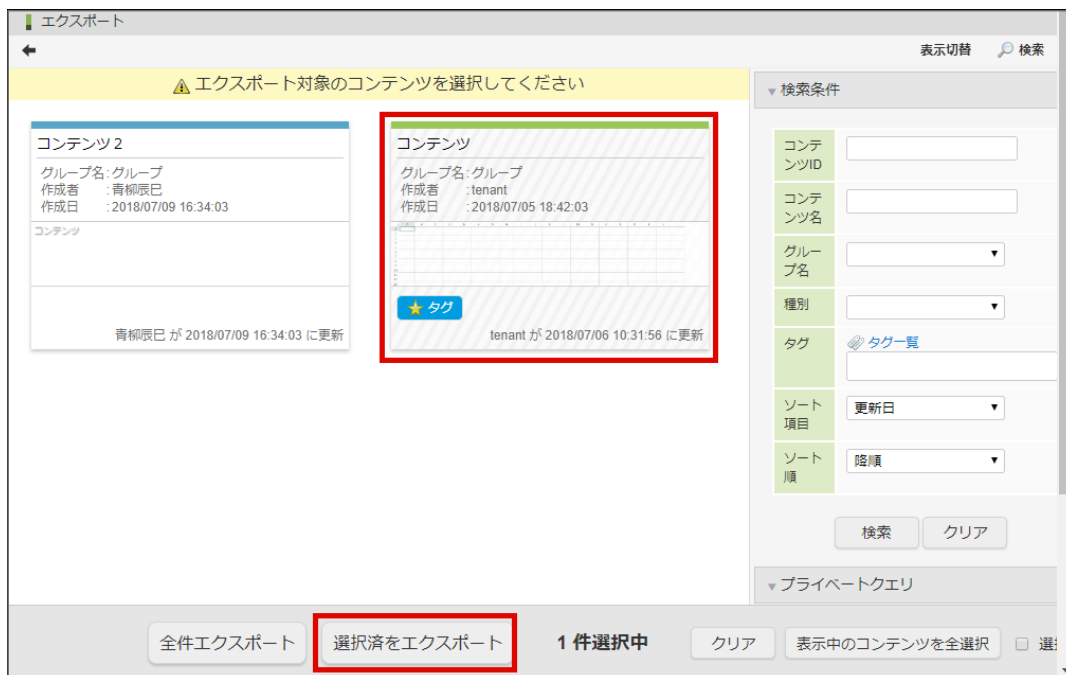


## コンテンツを指定してエクスポートする

- 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「エクスポート」をクリックし、「エクスポート」画面を表示します。



2. エクスポート対象のコンテンツをクリックします。
3. 画面下に表示されているツールバーの「選択済をエクスポート」ボタンをクリックします。



## 設定可能項目

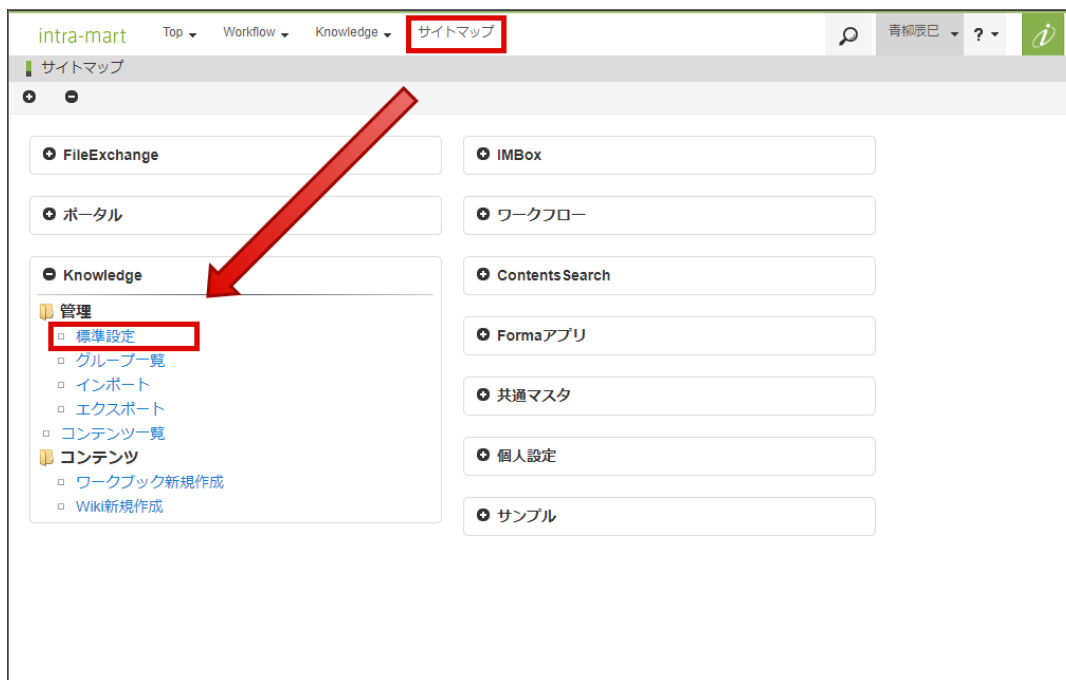
標準設定画面で設定可能な項目は下記の通りです。

- タグ上限値
- 表示形式

## タグ上限値を設定する

コンテンツに付与可能な上限値を設定します。

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「標準設定」をクリックし、「標準設定」画面を表示します。



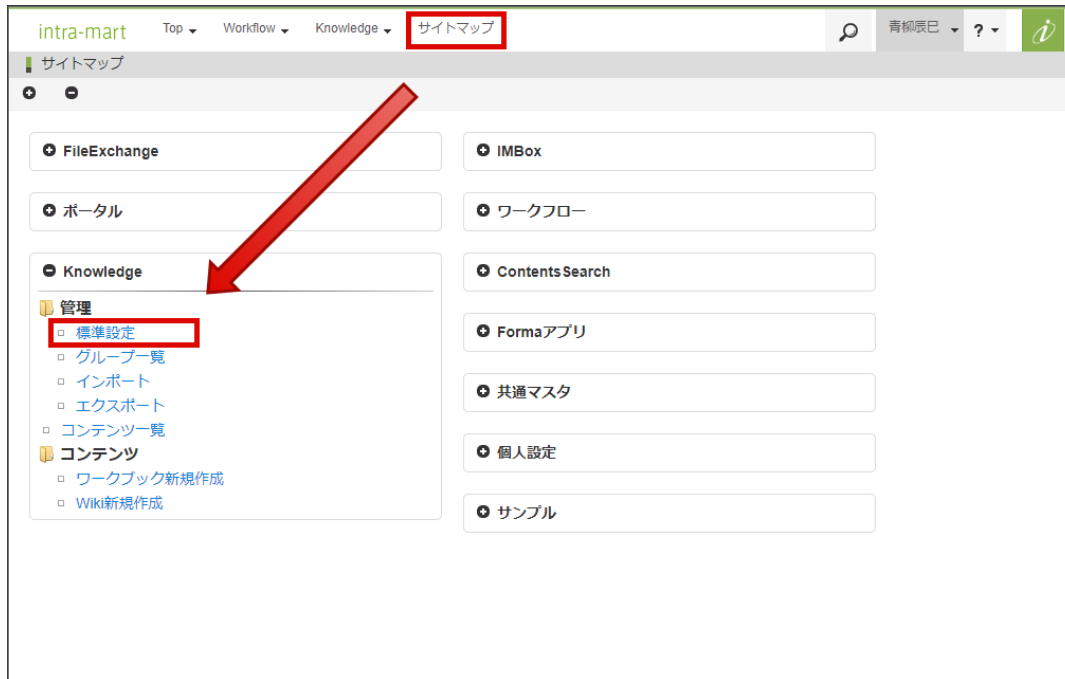
2. 「タグの上限値」項目にタグを作成できる上限値（0以上の数値）を入力し、「更新」ボタンをクリックします。



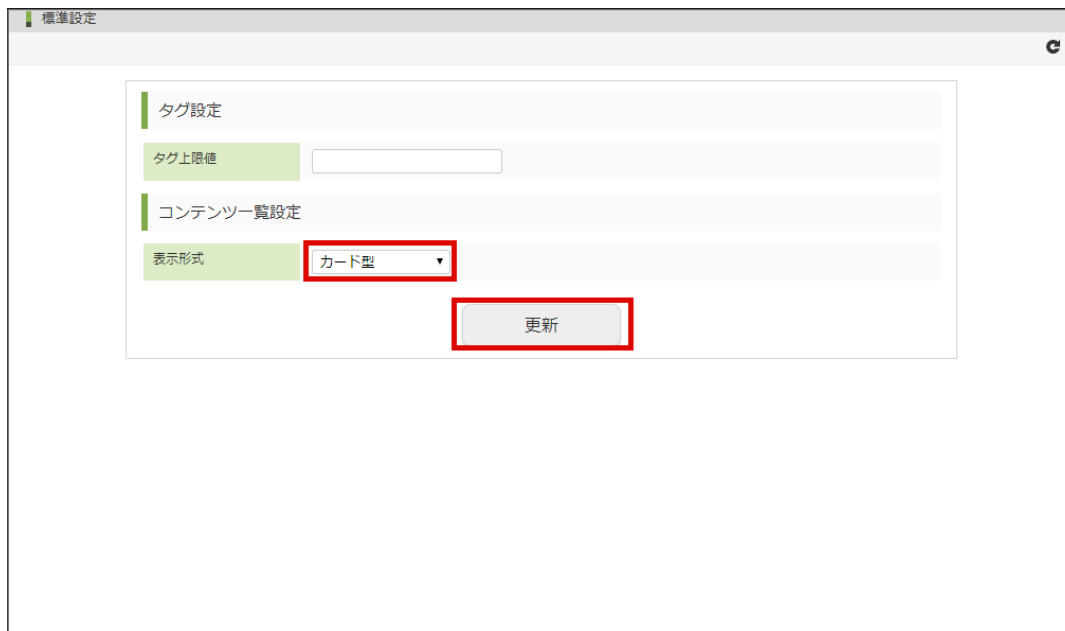
## 表示形式を設定する

コンテンツ一覧の初期表示時の表示形式を設定します。

1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「管理」→「標準設定」をクリックし、「標準設定」画面を表示します。



2. コンテンツ一覧設定の「表示形式」の項目を設定し、「更新」ボタンをクリックします。



「コンテンツ一覧」画面での表示形式は下記の通りです。

項目	説明
カード型	各コンテンツをサムネイル形式で表示します。
テーブル型	各コンテンツをリスト形式で表示します。

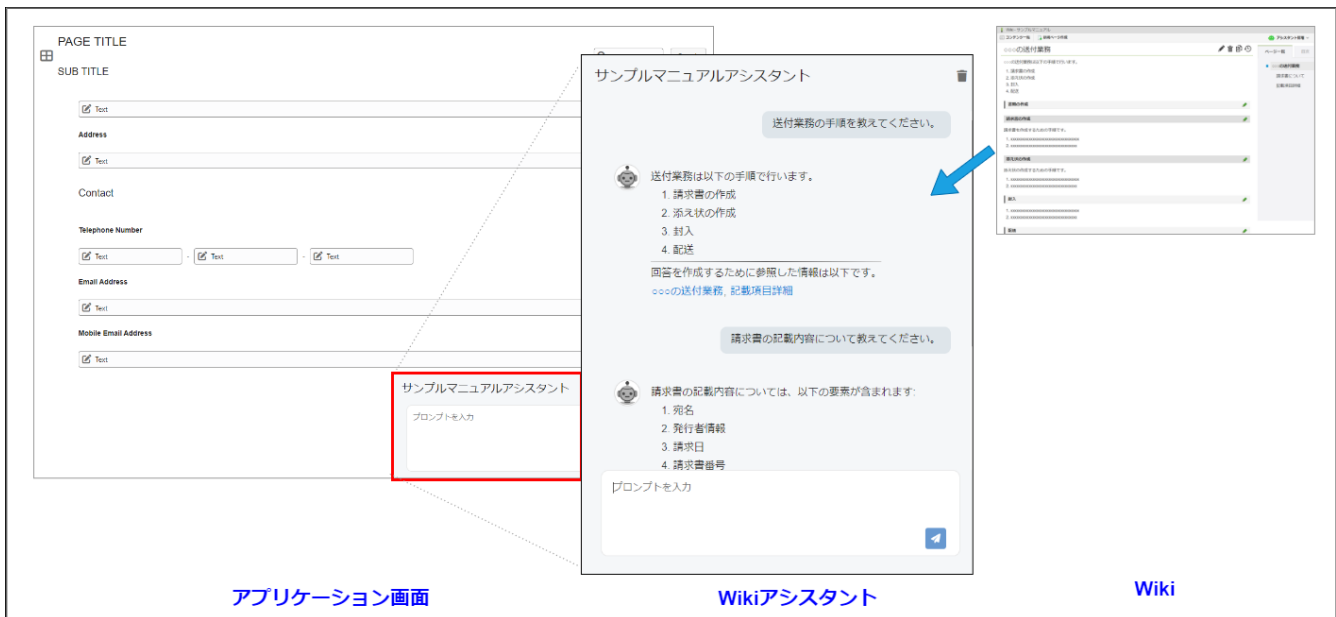
ここではWiki アシスタントの機能について説明します。

## Wiki アシスタントについて

Wiki アシスタントは、チャットボットを通じてユーザの質問に対しWiki の情報（添付ファイルも含む）をもとにAIサービスが回答する機能です。

1つのWiki に対して1つのアシスタントが作成できます。

業務マニュアルや社内規定などをWiki に記載してWiki アシスタントを作成し、関連する業務画面内に埋め込むことで、ユーザが画面を閲覧しながら リアルタイムでの問い合わせが可能です。



以降では、Wiki アシスタントを作成、編集するユーザをWiki アシスタント管理ユーザ、Wiki アシスタントを利用するユーザをWiki アシスタント利用ユーザと表記します。

### コラム

Wiki アシスタントは、添付ファイルのテキスト抽出にテキスト抽出機能（ND Universal Extractor）を利用します。必要に応じて、テキスト抽出機能のテキスト抽出設定の調整を検討してください。

設定内容の詳細については、「[設定ファイルリファレンス](#)」 - 「[テキスト抽出設定](#)」を参照してください。

## Wiki アシスタント機能の利用手順

Wiki アシスタント機能を利用するための手順を説明します。

### 1. Wiki アシスタント管理ユーザの設定（テナント管理者、Knowledge グループ管理者）

はじめにWiki アシスタント管理ユーザのための認可設定を行います。

- テナント管理者による認可設定  
Wiki アシスタント管理ユーザに以下のリソースの実行権限を付与します。
  - 認可
    - 認可設定（ポップアップ）（必須）
    - 認可設定（Ajax用）（必須）
  - IM-Copilot
    - アシスタント定義設定（必須）
    - IM-Copilot 共通アシスタント実行画面（任意）  
Wiki アシスタント管理ユーザに共通アシスタント実行画面の利用を許可する場合に付与します。
- Knowledge グループ管理者による認可設定  
Wiki アシスタント管理ユーザにWiki が所属するナレッジグループの「管理」権限を付与します。  
ナレッジグループの権限については、「[ナレッジグループの権限設定](#)」を参照してください。

## コラム

Wiki が所属するナレッジグループの「編集」権限を持つユーザは、該当のWiki のアシスタント機能が有効かどうかの確認のみできます。

アシスタントが作成されている場合は、Wiki を表示するとツールバーにリンクが表示されます。リンクをクリックするとアシスタントが有効な場合における注意事項が記載されたダイアログが表示されます。

ユーザが「IM-Copilot アシスタント定義設定」認可リソースの実行が許可されている場合は、アシスタントIDとアシスタント名を確認できます。



<Wiki のアシスタント機能が有効な場合のWiki表示例>

### 2. Wiki アシスタントの作成 (Wiki アシスタント管理ユーザ)

対象のWiki にアシスタントを作成します。

作成方法については、「[Wiki アシスタントを新規作成する](#)」を参照してください。

### 3. 「Wiki アシスタント同期」ジョブネットをスケジューリングして実行 (ジョブスケジューラ管理者)

Wiki アシスタント機能では、ジョブスケジューラ機能のジョブネットとしてWikiコンテンツ情報をベクトルデータベースに同期するジョブネットを提供しています。

定期的にジョブネットを実行してWikiコンテンツの内容をベクトルデータベースに同期する必要があります。

ジョブネットの詳細については、「[ジョブ・ジョブネットリファレンス](#)」-「[Wiki アシスタント同期](#)」を参照してください。

### 4. Wiki アシスタントの画面への埋め込み (画面開発者)

Wiki アシスタントをIM-BloomMakerで作成された画面内に埋め込みます。

埋め込み方法については、「[Wiki アシスタントの組み込み](#)」を参照してください。

### 5. 「Wiki アシスタント会話履歴削除」ジョブネットをスケジューリングして実行 (ジョブスケジューラ管理者)

アシスタントの会話履歴はユーザが画面から削除できますが、会話履歴の threadId の付与方法にランダム値を利用しているなど、会話履歴が画面表示時のみ参照可能な場合は、画面を閉じると参照できなくなった会話履歴がデータベースに残り続けます。

会話履歴の増大によるデータベース容量の圧迫とクエリパフォーマンスの低下を防ぐため、定期的にジョブネットを実行して不要な会話履歴をデータベースから削除することを推奨します。

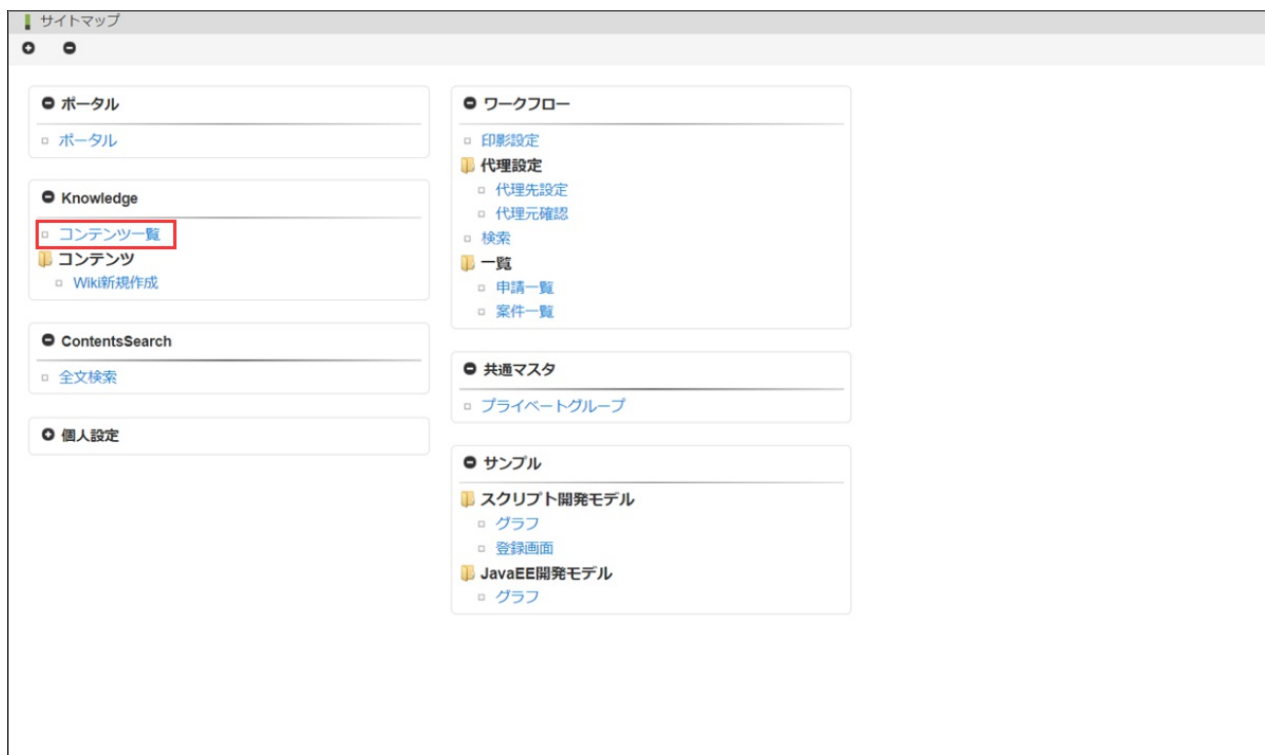
ジョブネットの詳細については、「[ジョブ・ジョブネットリファレンス](#)」-「[Wiki アシスタント会話履歴削除](#)」を参照してください。

## Wiki アシスタントの作成/更新/削除

ここではWiki アシスタントを扱う画面の機能について説明します。

### Wiki アシスタントを新規作成する

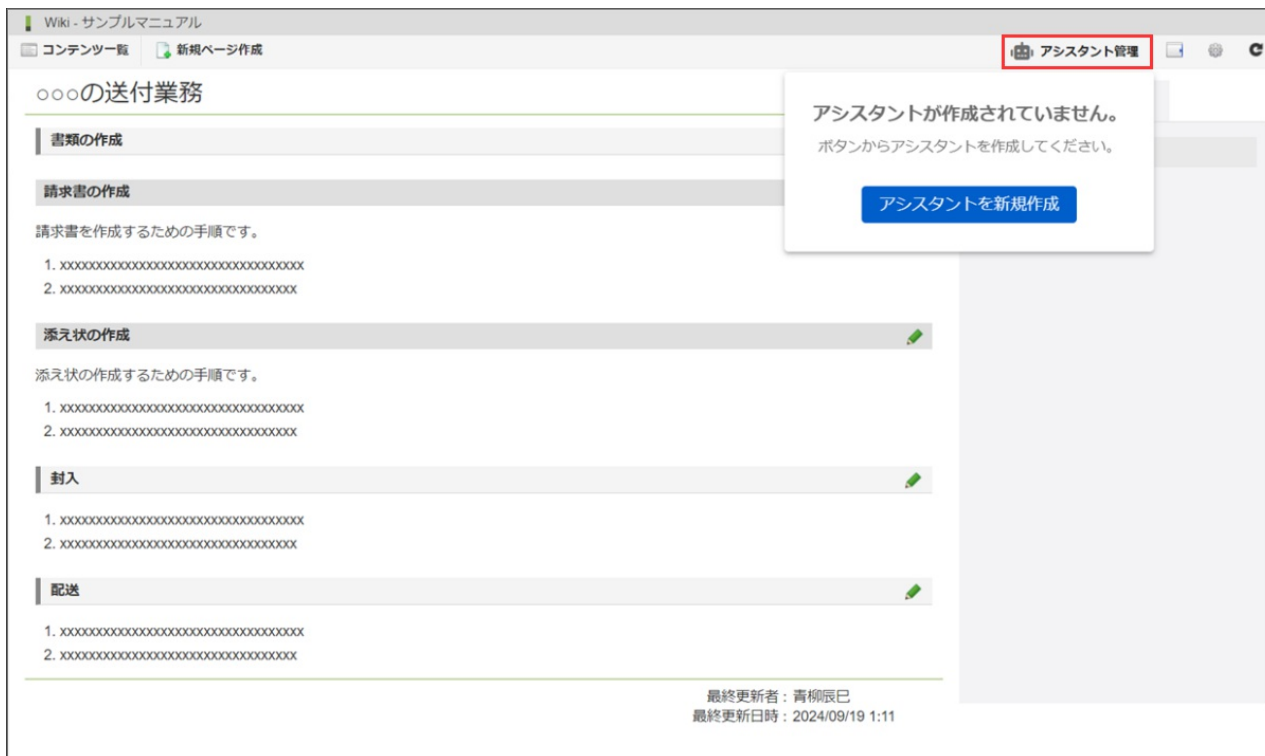
1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



2. アシスタントを作成するWiki のサムネイルをクリックします。



3. ツールバーにある「アシスタント管理」リンクをクリックします。  
表示されたパネルの「アシスタントを新規作成」ボタンをクリックします。



4. アシスタント新規作成ダイアログが表示されます。  
アシスタント情報を入力し「アシスタントを作成して次へ」ボタンをクリックします。

アシスタント新規作成
✕

1. アシスタントの作成
2. 認可設定 (任意)

**i** **アシスタントの作成を行います。**

アシスタントの情報を記入し、ダイアログ下部の「次へ」を押すとアシスタントが作成されます。  
作成後、アシスタントを利用するための認可設定を行います。

アシスタントID \*

アシスタント名 標準 \*  
 🌐

カテゴリ  🔍 ⊗

説明 標準  
 🌐

チャンクサイズ \*   
コンテンツの内容をベクトルデータベースへ格納する際に行うテキスト分割の単位となる文字数を設定します。

言語設定 日本語 ▼

キャンセル
アシスタントを作成して次へ

<画面項目>

項目	説明
アシスタントID	アシスタントを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。

項目	説明
アシスタント名	アシスタントを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを設定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
カテゴリ	アシスタントが属するカテゴリを設定します。
説明	アシスタントの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを設定します。
チャンクサイズ	コンテンツの内容をベクトルデータベースへ格納する際に行うテキスト分割の単位となる文字数を設定します。 設定可能なチャンクサイズの最小値は100、最大値は4000です。 この項目は必須項目です。
言語設定	Wiki コンテンツの言語を設定します。

5. 作成したアシスタント情報が表示されます。  
必要に応じて「認可設定画面を開く」ボタンをクリックして認可設定を行います。  
初期状態ではWikiのナレッジグループの認可設定が引き継がれており、後からでも編集できるためここでの設定は任意です。

アシスタント新規作成
✕

1. アシスタントの作成
2. 認可設定 (任意)

**アシスタントが作成されました。**

アシスタントの情報は以下の通りです。  
必要に応じて、認可設定を実施してください。

<b>アシスタントID</b>	sample_manual_assistant		
<b>アシスタント名</b>	サンプルマニュアルアシスタント		
<b>カテゴリ</b>			
<b>説明</b>	サンプルマニュアルアシスタントです。		
<b>チャンクサイズ</b>	500	<b>言語設定</b>	日本語

**認可設定**

初期状態では、Wikiのナレッジグループの認可設定が引き継がれています。  
認可設定は後からでも編集できます。

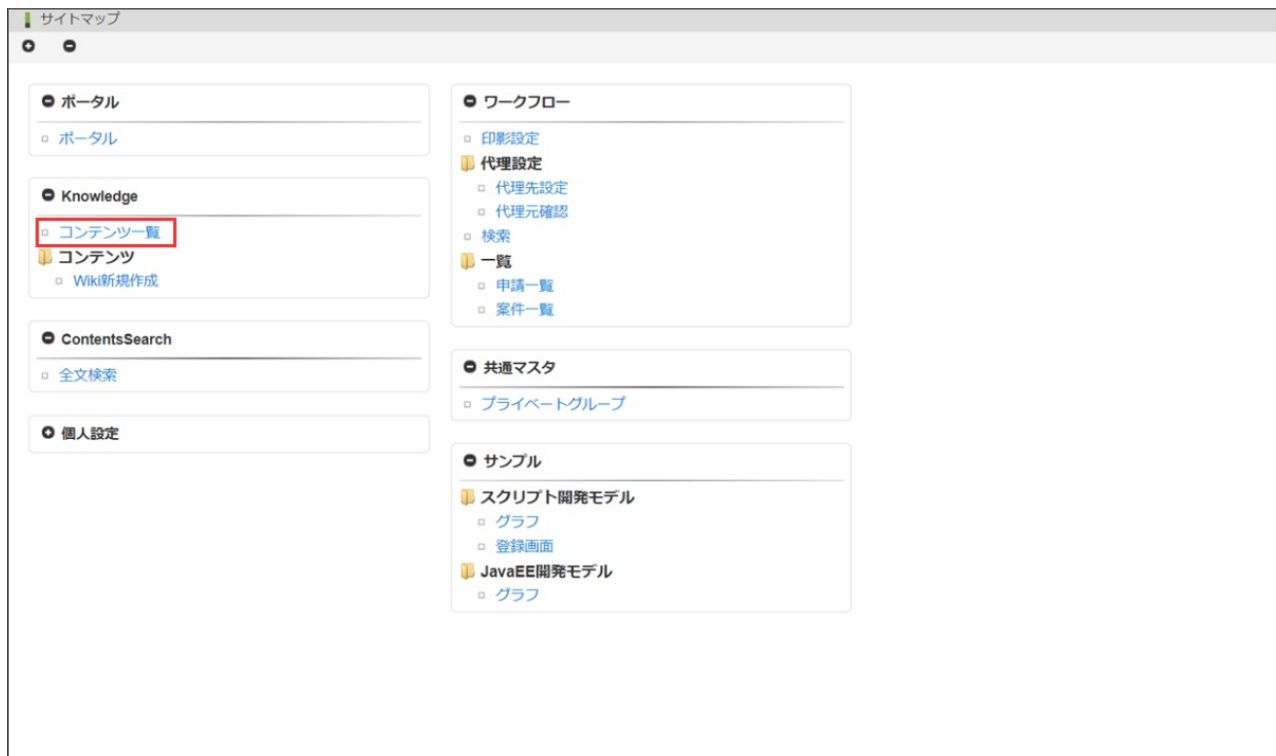
認可設定画面を開く

閉じる

認可設定画面での設定方法については、「[Wiki アシスタントの認可設定](#)」を参照してください。

## Wiki アシスタントを更新する

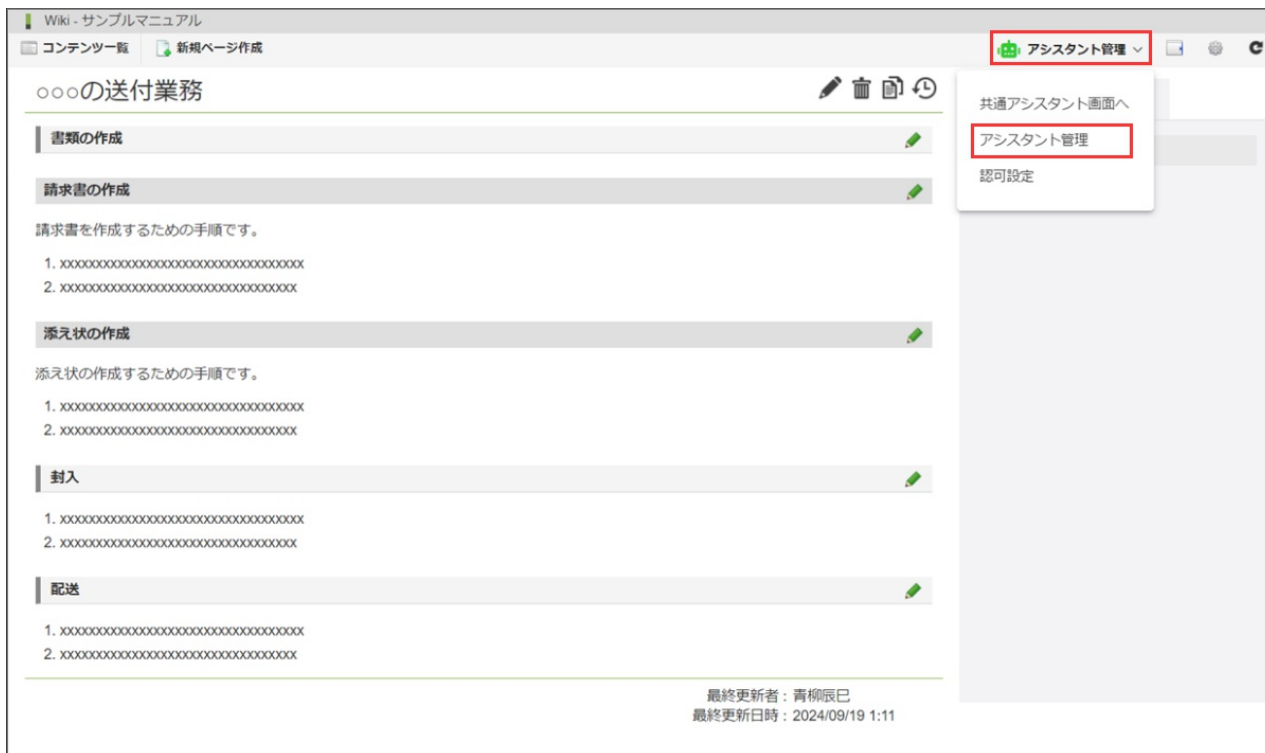
- 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



2. アシスタント情報を編集するWiki のサムネイルをクリックします。



3. ツールバーにある「アシスタント管理」リンクをクリックします。  
表示されたメニューの中の「アシスタント管理」リンクをクリックします。



<画面項目>

項目	説明
共通アシスタント実行画面へ	共通アシスタント実行画面に遷移します。 このメニューはWiki アシスタント管理ユーザが「IM-Copilot 共通アシスタント実行画面」認可リソースの実行権限がある場合に表示されます。 共通アシスタント実行画面については、「IM-Copilot 利用ガイド」 - 「共通アシスタント実行画面」を参照してください。
アシスタント管理	アシスタント編集ダイアログが表示されます。
認可設定	別画面にアシスタントの「認可設定」画面が表示されます。 認可設定についての詳細は、「Wiki アシスタントの認可設定」を参照してください。

- アシスタント編集ダイアログが表示されます。  
アシスタント情報を入力し「更新」ボタンをクリックします。

アシスタント編集
✕

アシスタントID sample\_manual\_assistant

アシスタント名 標準\*

カテゴリ

説明 標準

チャンクサイズ\*   
コンテンツの内容をベクトルデータベースへ格納する際に行うテキスト分割の単位となる文字数を設定します。

言語設定 日本語

アシスタントを削除  
一度削除したアシスタントは復元できません。
アシスタントを削除

キャンセル
更新

&lt;画面項目&gt;

項目	説明
アシスタントID	アシスタントIDを表示します。
アシスタント名	アシスタントを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを設定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
カテゴリ	アシスタントが属するカテゴリを設定します。
説明	アシスタントの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを設定します。
チャンクサイズ	コンテンツの内容をベクトルデータベースへ格納する際に行うテキスト分割の単位となる文字数を設定します。 設定可能なチャンクサイズの最小値は100、最大値は4000です。 この項目は必須項目です。
言語設定	コンテンツの言語を設定します。
アシスタントを削除	Wiki アシスタントの削除を行うためのダイアログが表示されます。 詳細は、「 <a href="#">Wiki アシスタントを削除する</a> 」を参照してください。

## Wiki アシスタントを削除する

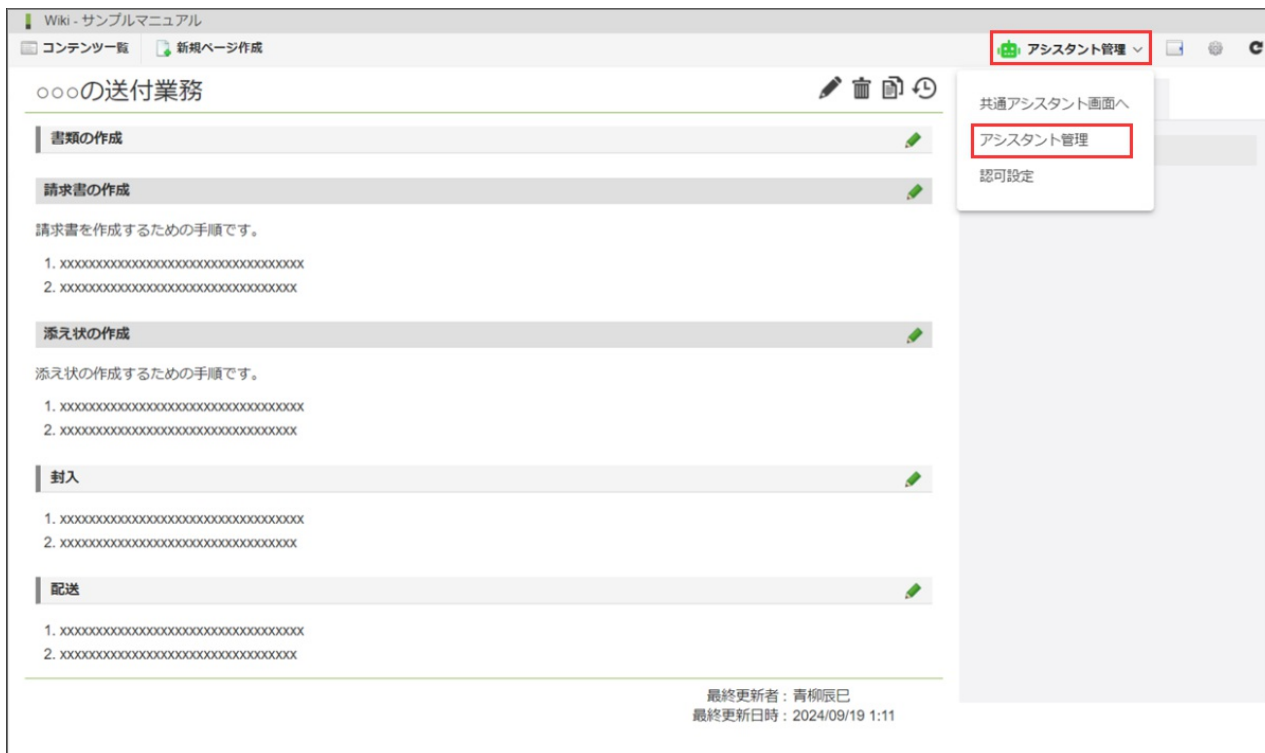
1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



2. アシスタントを削除するWiki のサムネイルをクリックします。



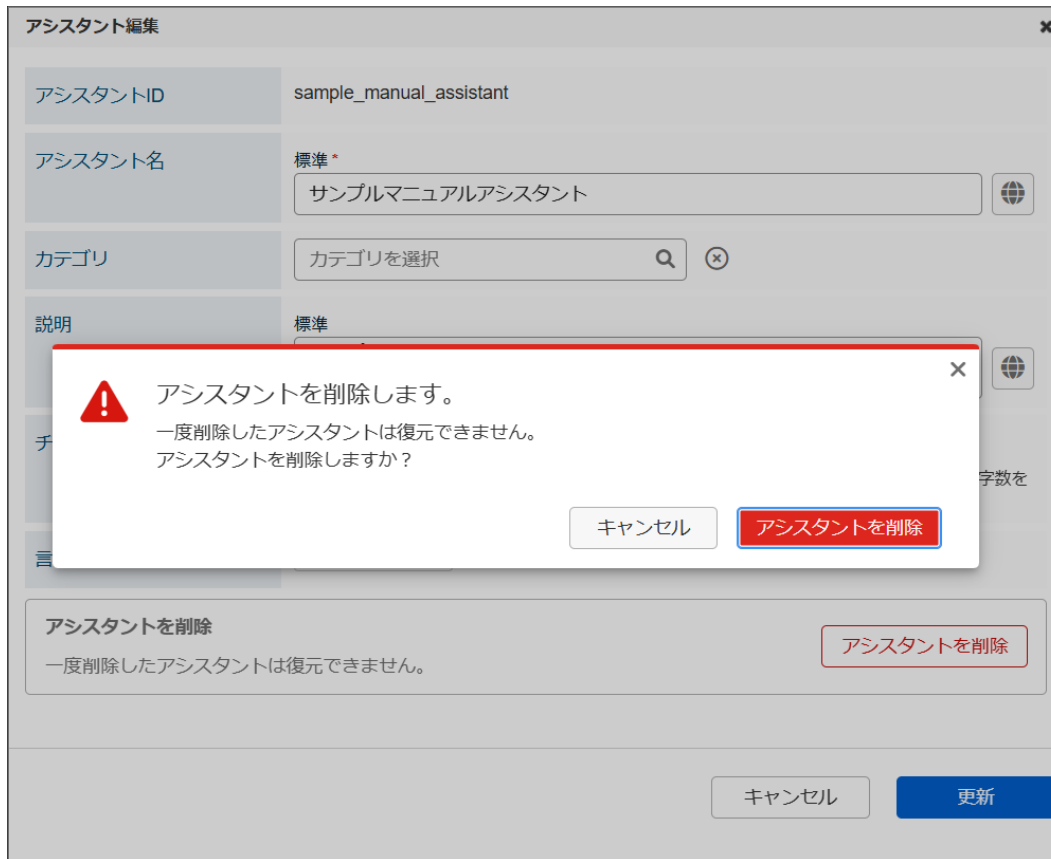
3. ツールバーにある「アシスタント管理」リンクをクリックして表示されたメニューの「アシスタント管理」リンクをクリックします。



4. アシスタント編集ダイアログが表示されます。「アシスタントを削除」ボタンをクリックします。



5. 確認ダイアログが表示されます。「アシスタントを削除」ボタンをクリックします。



## Wiki アシスタントの認可設定

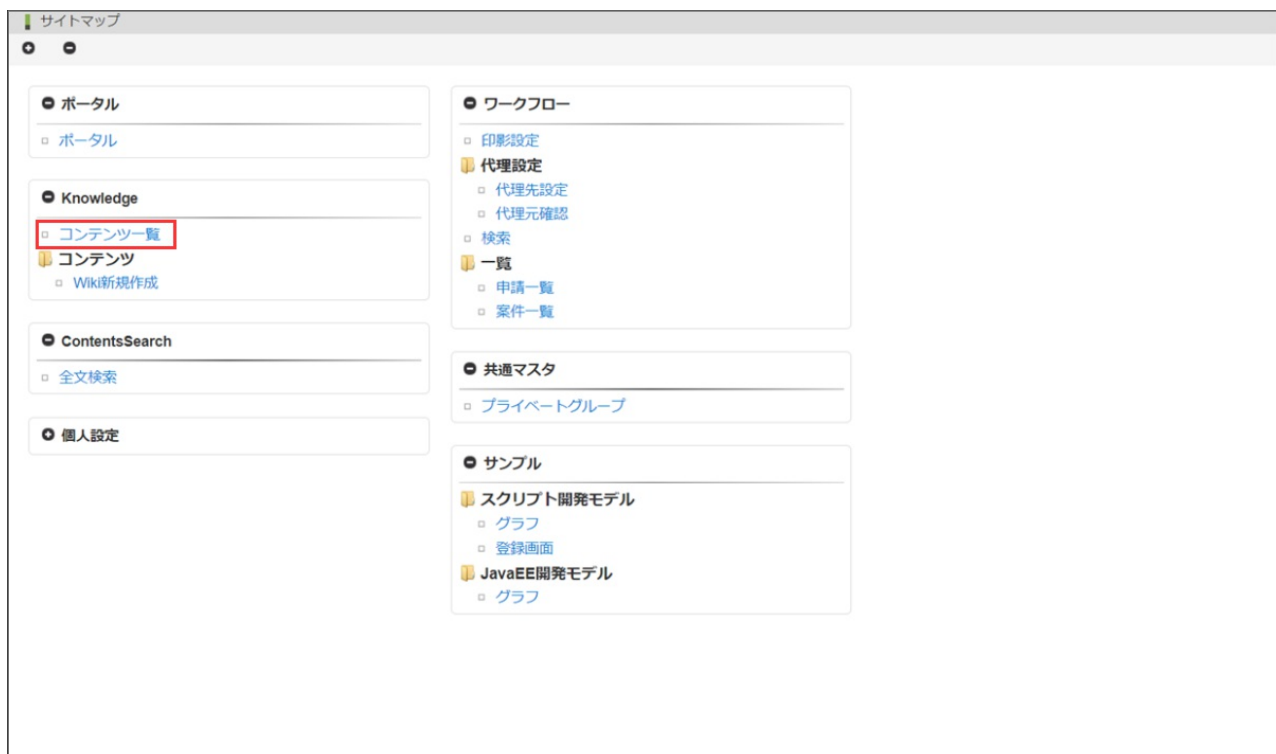
Wiki アシスタント利用ユーザがアシスタントを利用するための認可設定を行います。

Wiki アシスタントを作成した時点では、Wiki が所属するナレッジグループに設定されている認可ポリシーが引き継がれておりコンテンツに対して各操作権限（管理、編集、参照）を持つユーザとテナント管理者がWikiアシスタントを利用できます。

Wiki アシスタント作成時、作成後のどちらのタイミングでもWiki アシスタントの認可設定が行えます。

Wiki アシスタント作成時の設定については「[Wiki アシスタントを新規作成する](#)」を参照してください。

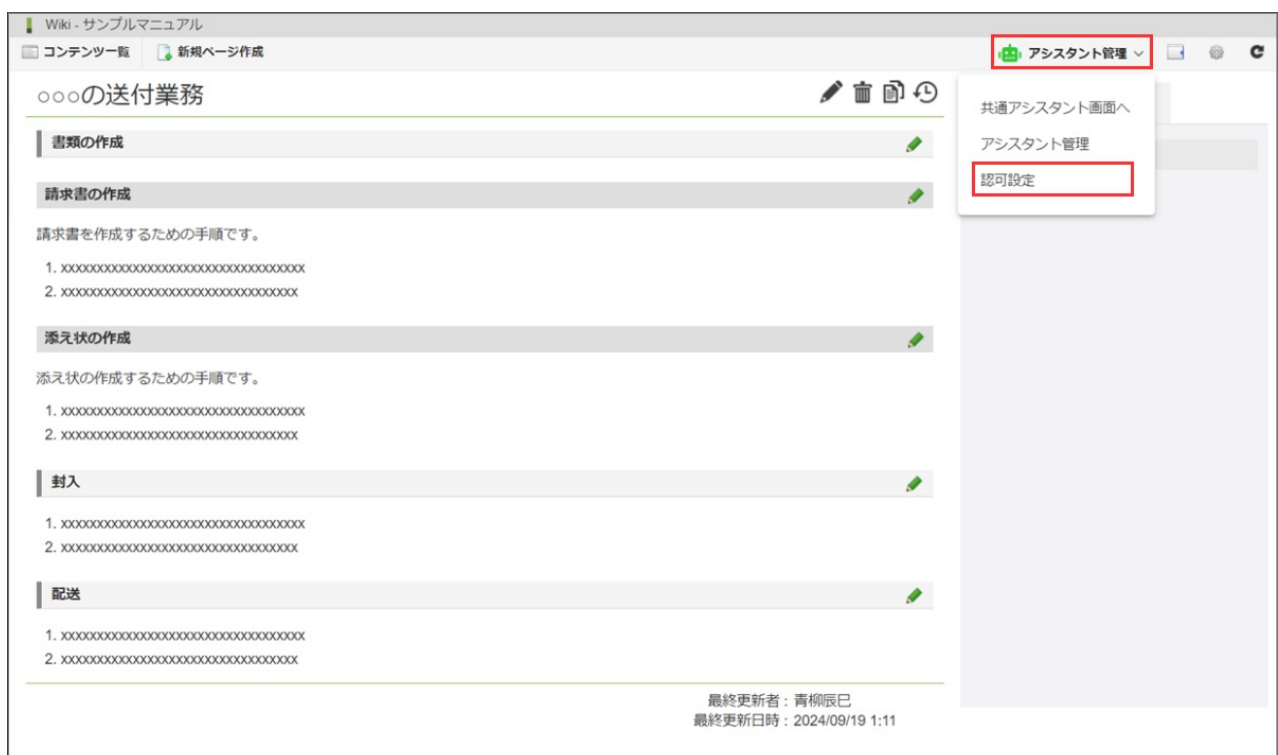
1. 「サイトマップ」→「Knowledge」→「コンテンツ一覧」をクリックし、「コンテンツ一覧」画面を表示します。



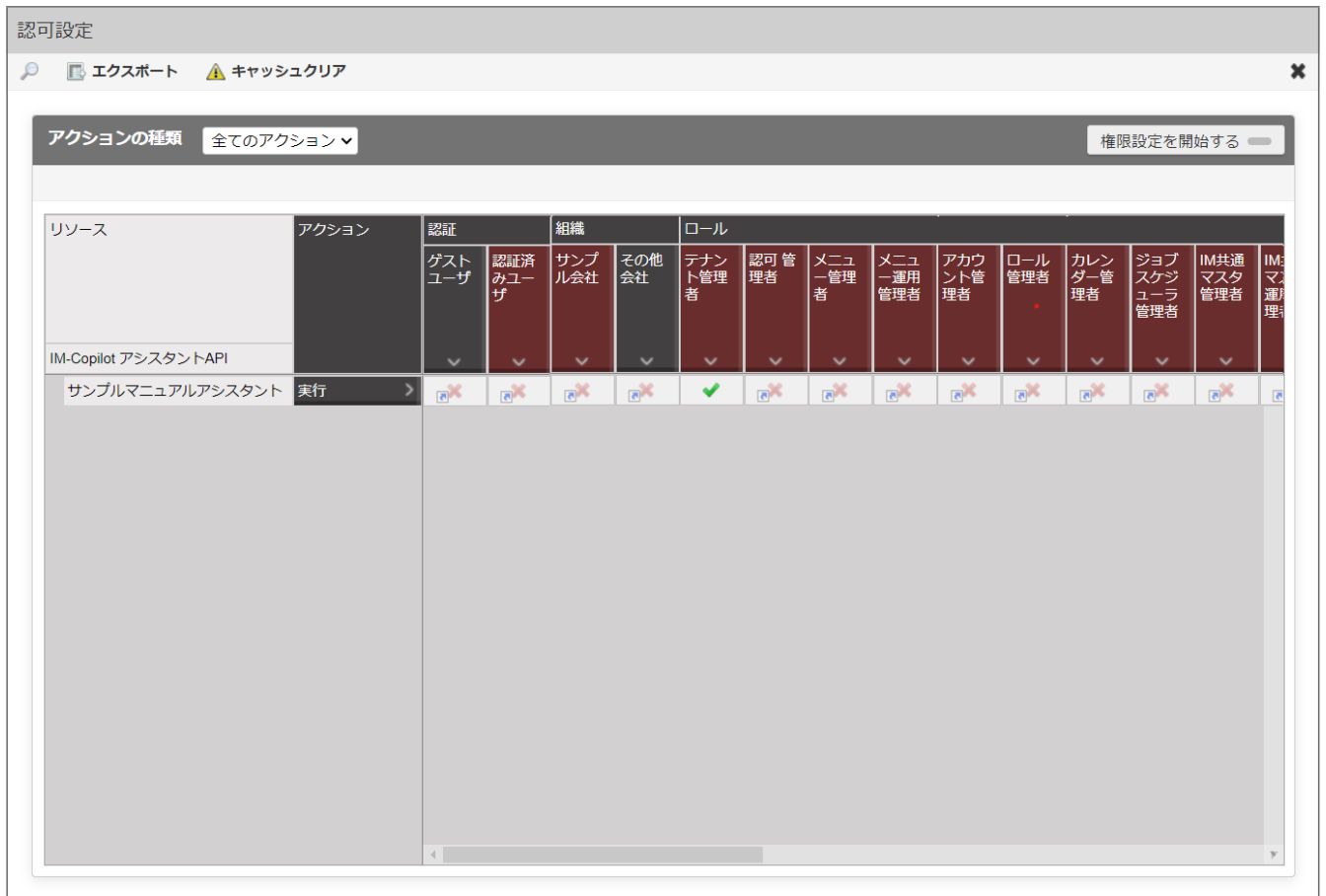
2. アシスタントの認可設定を行うWiki のサムネイルをクリックします。



3. ツールバーにある「アシスタント管理」リンクをクリックして表示されたメニューの「認可設定」リンクをクリックします。

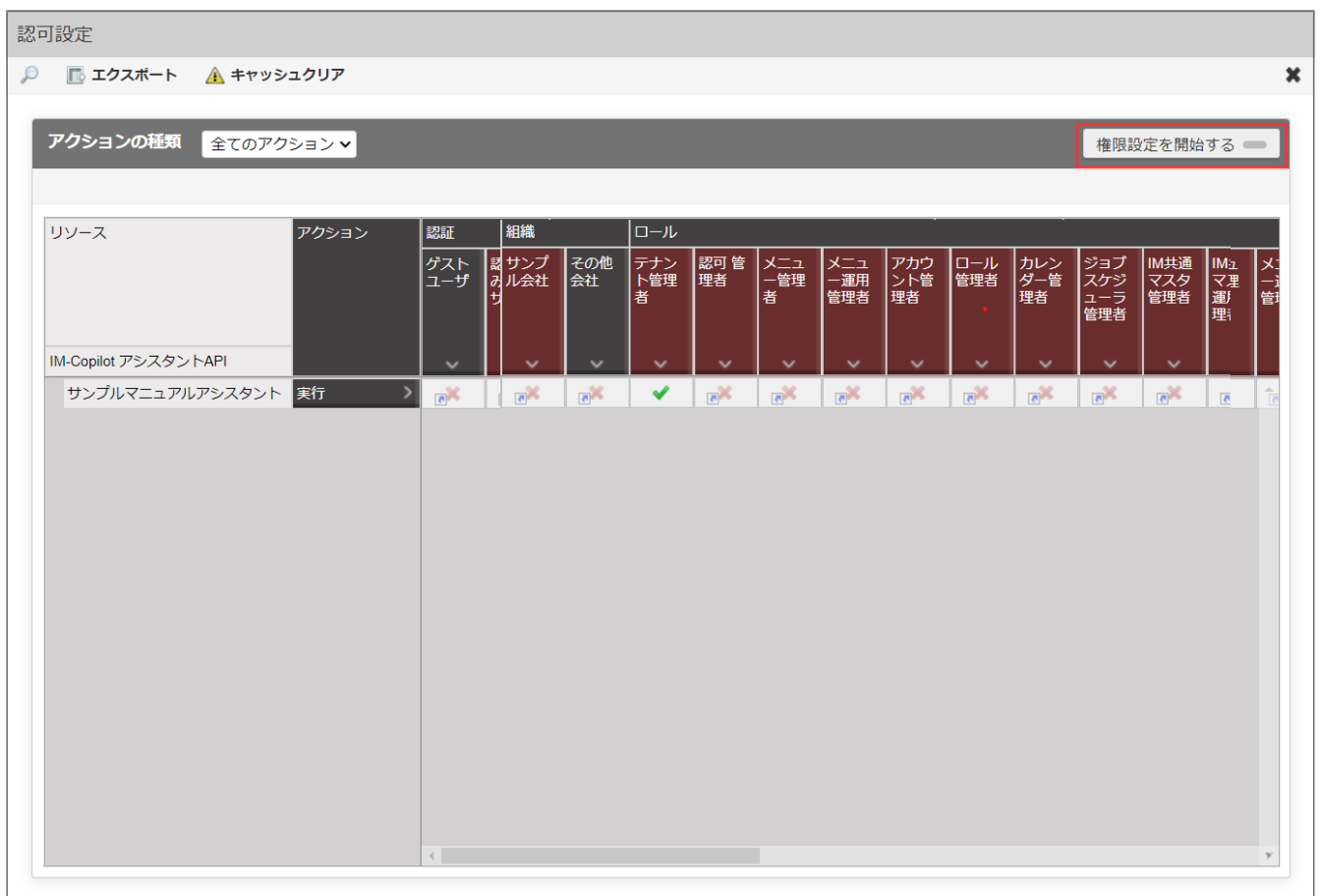


4. 別画面に「Wiki アシスタントの認可設定」画面が表示されます。



5. 「権限設定を開始する」をクリックし、認可設定を行います。

認可設定画面の基本的な利用方法は「テナント管理者操作ガイド」 - 「認可を設定する」を参照してください。



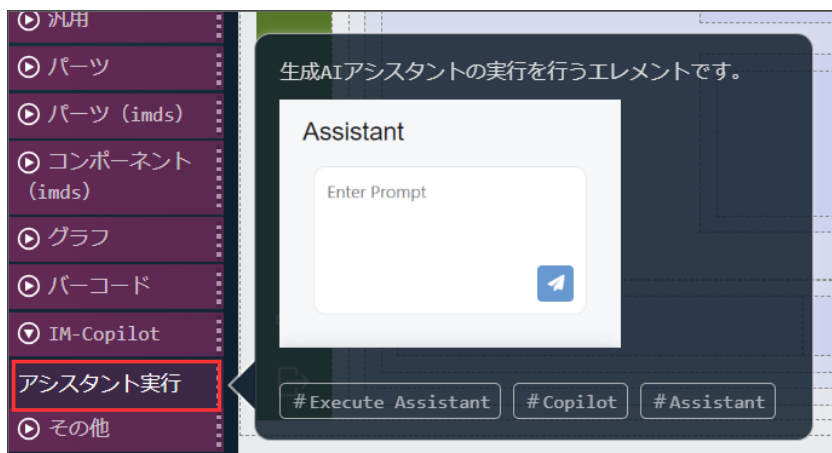
Wiki アシスタントは、IM-BloomMakerで作成した画面への組み込みが可能です。

ここでは組み込み方法について説明します。

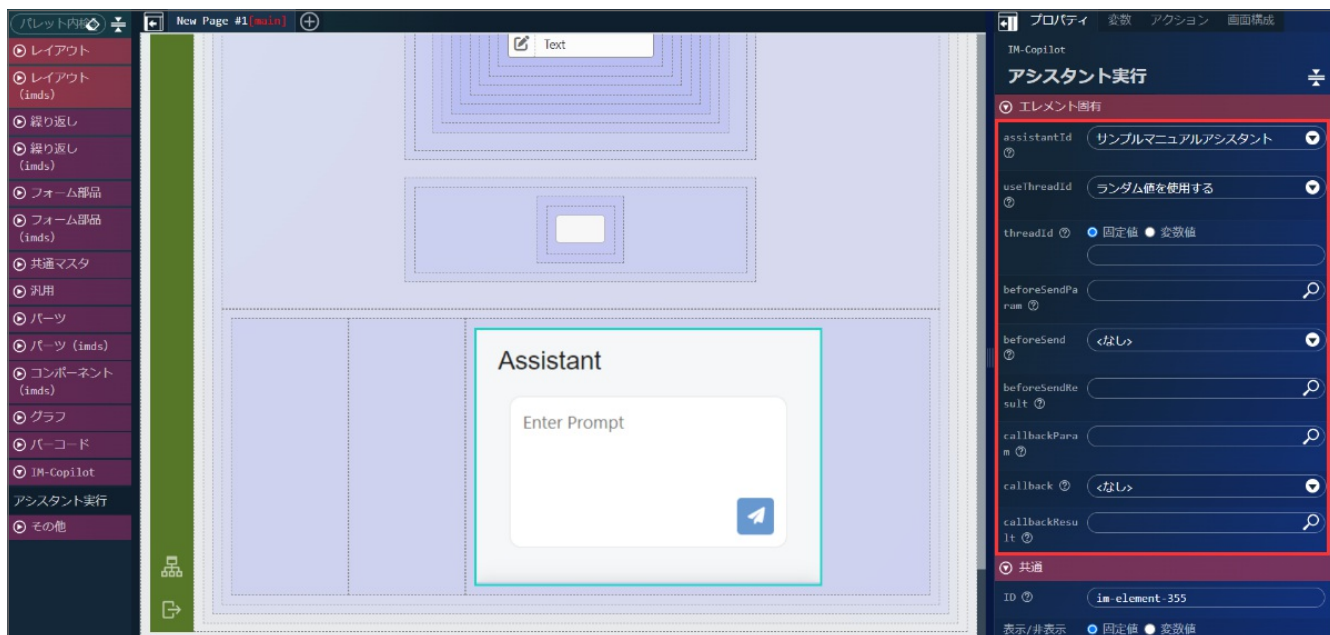
## Wiki アシスタントの組み込み手順

Wiki アシスタントを配置する IM-BloomMakerコンテンツのデザイナー画面で以下の設定を行います。

1. IM-Copilot部品 アシスタント実行エレメントを配置します。



2. 配置したアシスタント実行エレメントをクリックしてプロパティを設定します。



<アシスタント実行エレメント プロパティ項目>

assistantId	アシスタントID リストから対象のWiki アシスタント を選択します。
useThreadId	メッセージ履歴利用フラグ アシスタントへの問い合わせ時に過去の問い合わせ履歴を使用するかどうかを指定します。 メッセージ履歴を使用する場合は、履歴を識別するための threadId にランダム値、 threadId プロパティのどちらを利用するかを指定します。

その他のプロパティについては、「IM-BloomMaker for Accel Platform ユーザ操作ガイド」- 「IM-Copilot 部品」を参照してください。

3. 画面を開くと配置したWiki アシスタントが画面内に表示されます。

